

アセンションBOOK18

天の川銀河の12神殿3

12015年6月

「天の川銀河の12神殿」

3

鳳凰の女神とソフィア族



鳳凰の女神とソフィア族 目次

第1章 鳳凰の女神

第2章 新たな女神族の創出

第3章 「かぐや族」の救出

第4章 バミュータ・トライアングルの秘密

第5章 海の神殿とバミュータ・トライアングル

第6章 ムー文明の神殿の復興

第7章 地球に眠る神殿達の目覚めと新種族

第8章 甦る創造主とバミュータ・トライアングル

○宇宙で活躍する創造主の段階

作者 瀬戸武志&宇宙の光

アセンションブック

<https://www.k-suai.com/sp/index.html>

宇宙の光公式HP

<http://hikari1.com/sp/index.html>

アセンション評議会

<http://s-sun1.com/sp/index.html>

アメブロ光の世界へ

<http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI

yume34@k-suai.com

イラスト えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ

<http://ameblo.jp/angel-art2010/>

第1章 鳳凰の女神

PART1 フェニックスの女神の元へ

琴音さんとのアチューメントの時に、私達はダイヤモンド・シェンロンに連れられて、新たな女神のもとに案内されました。

それは、今までの最高次元の女神である「神聖なる愛の女神」を生み出した女神様でした。美しい光をたなびかせて、私達の前に現れた女神は、私達の活動をほめてくださり、私達に新たなパワーを授けてくれました。

私達は、一つの大きな障害を乗り越える事で、次元のハードルを飛び越え、新たな世界へと導かれていきます。

「天の川銀河の12神殿」の叡智はこの女神からもたらされた事、そして12神殿は、地球にエネルギーをもたらすだけでなく、宇宙全体にバランスをもたらす事を教えていただきました。

私達は、琴音さんのアチューメントの時にあった女神のもとに再度行くために、御世話係りさん達と集まりました。

葵さん、麗さん、美緒、そして美由紀さんの4人でダイヤモンド・シェンロンを呼び、私達を今朝会った女神のもとに連れて行ってくれるように伝えました。

ダイヤモンド・シェンロンは、私達に、フェニックス号で行くようにと伝えてきました。

私達が、フェニックス号に乗ると、目の前に、見た事もないような巨大で美しいフェニックス（不死鳥）が現れました。

フェニックスは、今朝会った女神からの使い

であると告げ、自分についてくるように私達に伝えてきます。

フェニックスの後を追うようにして、私達のフェニックス号は進んでいきます。

まぶしい光の空間や扉をいくつも通り抜けていきます。

やがて、大きな光の世界に出ると、フェニックス号から外に出て、丸い光の玉に包まれていきます。

まるでシャボン玉のように光の柱の中をらせん状に上がっていきます。

私達は、どんどん美しくてクリアーで神聖な光の中に入っていきます。

その光は、私達をどんどん変容させながら、さらに高い次元へと上がっていくようです。

どこからか、声がしてきます。

「あなた方が、女神になるように、皆さんのエネルギーを変容させていきましょう。

あなたも私達の大切な一部なのです。

このようにして、ここに導かれた皆さんは、スピリットがさらに次元を高め、地球に必要なエネルギーを放つために導かれたのです。」

私達は、さらに高い世界に上っていくと、女神が待つ世界への扉が開かれました。

そこに待っていたのは、今朝出会った女神様とは異なり、しっかりとしたエネルギーを感じますので、今朝お会いして女神は、この女神の投影であったようです。

つまり、私達が行ける最高次元に女神様が仮のお姿を現してくださり、私達に、自分のもとまで来るようにご招待してくださったようです。

この女神様は、まさに宇宙意識そのものといった存在です。

その宇宙の創造の意識から直接エネルギーを送っているような感じがします。

PART2 マルチバースのワンネスを司る 鳳凰の女神

女神の前には巨大なクリスタルが置かれていて、この宇宙の構造だけでなく「天の川銀河の12神殿」の真実の扉を開くカギ、変容をさらに効果的に受け止めるDNAの仕組みなど、この宇宙の最高レベルの秘密などがおさめられているほか、マルチバースを生み出すための原動力なども組み込まれているようです。

私達は、まず女神にお名前をお聞きしました。

「私には、名前はありますが、私の使いである鳳凰を通して、皆さんは、私達の意識とつながったり、私の力を使用する事になるでしょうから、鳳凰の女神、あるいはフェニックスの女神と呼んでいただいても結構です。」

「鳳凰の女神よ、私達をこのような素晴らしい世界へいざなっていただき大変ありがとうございました。

私達に、あなたの働きについて教えていただけませんか。」

「私は、この宇宙の創造主の意識です。私の意識と光から、神聖なる愛の女神や宇宙の意志、黄金の女神達も生まれていますし、多くのシェンロンやウイング、天使達も生まれてきています。

私は、この宇宙の創造と運営に関するすべての情報とパワーを持ち、ユニバースのみでなくマルチバースさえも生み出す力を持っています。

多くの創造主だけでなく、女神やマスター達も、そして皆さんも、私の大切な一部であり、私の光の中にあるきらめきです。

私の目的は、この宇宙にワンネスを作り上げる事です。

この宇宙には、様々な立場のマスターや女神もいますし、皆さんのように物理世界に生きている人達もいます。

それらの存在が、すべて私の一部であり、宇宙の大切なワンネスを構成している事を理解してほしいのです。

もちろん、皆さんのような存在だけでなく、名前も形も定かではないたくさんのエネルギーも、宇宙には存在しています。

そしてそれらの名前もないエネルギーでさえも、この宇宙にとって存在する価値のあるものである事を知ってください。

たとえ、それが闇のように見えようとも、ネガティブな働きを持っているかのように見えようとも、私にとってはとても大切なものである事に間違いのないのです。」

私達は鳳凰の女神の素晴らしいパワーに圧倒されて言葉を失い、女神を見つめています。

「あなた方は、「天の川銀河の12神殿」の復興にむけて努力をしてくださっています。これからも多くの苦難を乗り越えて、この素晴らしい仕事を行ってくださると思いますが、この12神殿のシステムも、実は私が作ったものです。

この12神殿は、地球に安定をもたらすだけでなく、天の川銀河全体に素晴らしいエネルギーの循環を生み出す事でしょう。

そして、天の川銀河に大いなるワンネスをも

たらし、天の川銀河全体の波動をさらに高めていく事となるでしょう。

もちろん地球にもそのエネルギーは流れこみ、地球は本来の働きに目覚めてくる事でしょう。

「天の川銀河の12神殿」のエネルギーは、地球の中心を通り、地球の大切なゲートを開き、あなた方に新しい世界を見せてくれる事でしょう。」

「偉大なる鳳凰の女神よ、あなたのお考えは、とても素晴らしいものです。

私達の手で「天の川銀河の12神殿」と「地球の12神殿」が復興できる事を大変光栄に思っておりますので、私達をお導きください。それで鳳凰の女神よ、この世界にはまだあなたのような存在がいらっしゃるのですか、この宇宙には、いくつものマルチバースが存在していると聞きましたが、その管理はどうなさっていますか。」

「私は、すべてのマルチバースの親でもあります。

マルチバースの1つ1つには、「神聖なる愛の女神」とそのグループを配置し、それぞれがマルチバースを見守っています。

しかしながら、この宇宙には、私の仕事をまねて、マルチバースの創造主になろうとする存在もいて、非常に不安定な宇宙を作り出している者もいるようです。

もし皆さんが、そのような宇宙を見かけたら、ぜひ私達のエネルギーを使用してより良い宇宙になるように立て直してください。」

「偉大なる鳳凰の女神よ、あなたがお作りになる宇宙の目的はなんですか、教えてください。」

私は続けて鳳凰の女神に問います。

「私達の目的は、「神聖なる愛の女神達」が管理している宇宙のエネルギーを正しく循環させ、最高次元の宇宙に上昇させていく事です。

宇宙も生まれたての頃は、それほど多くの銀河や星団もありませんし、星にすむ叡智ある存在も決して多くありません。

私達は、そのような若い宇宙を育て、星々を生みだし、銀河や星団を少しずつ増やしていきます。

そして、星に住む叡智ある存在を育て、最終的にワンネスの意識へと導いていくのです。星々の意識も、そこに住む人々の意識の向上によってワンネスの意識につながっていきます。

人々が、自分の個人的なワンネスから惑星レベルのワンネスに行き着く時には、素晴らしい変化が生まれます。

この宇宙の異なる星々で、ワンネスの意識を持っている人達がさらに増えていくと、宇宙はさらに豊かなものとなっていくのです。」

私は、鳳凰の女神のスケールの大きな話に圧倒されています。

「本当に、申し訳ないのですが、物理世界に生きる私達は、なかなかワンネスの意識を持つ事ができないのですが、どうしたらよいでしょうか。」

「目に見える世界に惑わされないでください。

ワンネスは見るものではなく、あなたのハートで感じるものです。

あなた方のハートに、私の光がもっと差し込めば、次元が低いとか高いという区別もなくなりますし、闇のエネルギーやネガティブなエネルギーが、この宇宙に対してどのような

働きを持っているかなどもきっとわかってくる事でしょう。

物理次元があるからこそ、様々な世界と深くつながる事ができるし、それらのエネルギーをあなたのハートで統合する事で、素晴らしいワンネスの世界が生まれてくる事を、あなたは知っているはずですよ。

あなたは良く、皆さんに対して、物理世界とスピリチュアルな世界が、深くつながっている事をお話になるのではないですか。」

たしかに鳳凰の女神の言う言葉には説得力があります。

メンバーの全員がうなずいているようです。

「皆さんが、ここに来てくださったという事は、もうすでに私がお話ししたワンネスの意識をお持ちになっているという事です。

皆さんの活動を通して、クラスの方や地球の人々にその意識を分かち合ってくださいね。それでは、私のところに来てくださったお礼に、このクリスタルをお持ちになってください。

そしてこのクリスタルを皆さんのハートに収め、これからの活動に役に立ててください。」

私達は、そのクリスタルを受け止めていますが、私だけ巨大なクリスタルが送られたようで、クリスタルに押しつぶされそうになっている私を見て、皆さんが笑っています。

そして私達は、鳳凰の女神から、様々な情報や能力が込められた聖衣を貰いました。

お世話係りさんの聖衣はとても軽やかで薄い色に染め上げられていますが、とてもたくさんの情報や光が込められているようです。

私の聖衣は、様々な神聖幾何学やシンボルなどが書き込まれ、非常にかっしりとしたものです。

これは、私達が巨大なネガティブなエネルギーに出会った時も、もっとスムーズにワンネスのエネルギーにつなげる事ができるようにするための物らしいです。

そして鳳凰の女神は、自分の使いであるフェニックスを呼ぶ事で、自分の力を使用する許可を私に与えてくれました。

PART3 鳳凰の女神のクリスタル

私達は、後日、麗さんのアチューメントをおこなっている時に再度、鳳凰の女神に呼ばれました。

今日現れたフェニックスはシリウスのゲートから鳳凰の女神のもとに飛んでいくようです。

私達もその後を追い、シェンロン達とともに、光の通路を進んでいきます。

鳳凰の女神のもとに着くと、まぶしいばかりの光が鳳凰の女神とクリスタルから放たれています。

私達もシェンロン達も、クリスタルの周りに円を作り、ワンネスの次元につながるための光を送ります。

鳳凰の女神が、クリスタルに手を当てると、光がどんどん周りに広がっていきます。

この光は、とても特殊なエンパワーメントの光の様です。

光の中から、鳳凰の女神のワンネス・エネルギーを保持するための遺伝子コードが生ま

れていくようです。

このクリスタルと鳳凰の女神のコードはシリウスの愛の泉とも関係しているようですが、このコードを持つ事で、私達の中のワンネスが活性化され、宇宙に愛のエネルギーの循環を起こしていくようです。

多くのシェンロン達が、クリスタルの近くに横たわったり上空を舞ったりしていますが、私のシェンロンであるエルエルは、鳳凰の女神のクリスタルの中に入っていきます。そしてしばらくすると、鳳凰のクリスタルの中から、その分身ともいえるクリスタルを授かって出てきます。

この分身のクリスタルを地球のコアのクリスタルに入れる事で、鳳凰の女神の光が地球とつなげられていきます。地球のスピリチュアル次元と3次元の両面のアセンションを行うために、この鳳凰のクリスタルは、もっとも重要な働きをする大切なエネルギーとなるようです。

鳳凰の女神が、語ります。

「この宇宙はいくつもの次元が一つにつながって、存在しているのですよ。

私のクリスタルと地球のコアのクリスタルのエネルギーがつながります。

そして TAKESHI さんのもとにあるクリスタルともつながっていきます。

このようにして宇宙のさまざまな世界は繋がりが、ワンネスの元に戻ってくるのです。

今日は、そのために大切なクリスタルと鳳凰のコードをお渡ししましたので、ぜひ活用してくださいね。

そうする事で、宇宙の光の通路はさらに太くなっていくのですよ。」

鳳凰のクリスタルと地球のコアのクリスタルや我家のクリスタルが、一つにつながっていきます。

シェンロンであるエルエル達は、それらの次元を行き来しながらエネルギーの循環を行い、サポートしていく模様です。

PART4 鳳凰の女神からのメッセージ 「天の川銀河の12神殿」の秘密

このパートは、鳳凰の女神からの直接のメッセージをご紹介します。

それでは、鳳凰の女神より、「天の川銀河の12神殿」について、お話をさせていただきます。

この神殿という意味についてですが、私達が神殿という場合には、他の宇宙や高次元への通路、もしくはゲートという意味があります。今回、地球におけるレムリアの12神殿もアガルタの12神殿も全て、この宇宙にある星座の中の特定の神殿とつながっています。

皆さんが、地球の神殿を考えるなら、そこは神が宿る場所、神のエネルギーが存在する場所というイメージがあると思います。

もちろんそそのような意味もありますが、神殿は地球の内外に存在する高次の神々へとつながる場所でもありました。

神殿は、神が宿っている場所であり、神（高次元のマスター）が存在する場所と、地球の特定の場所をつないでいる場所でもあります。

そのために、神社が持つ高次元の存在へ至る

通路をしっかりと守り、通路の先にいる神（高次元のマスター）としっかりとつながらなければ、神殿の神聖なるパワーは持続する事ができません。

日本の神社は、神主がいて、神への祈りを毎日捧げる事により、自らを神への通路とします。

高次の神とつながっている神主が存在して初めて、そこが神域である事ができるのです。しかし神主が、その事を理解し、祈りを行い続けなければ、やがて高次元の神々との通路は途絶えてしまい、その神域には力がなくなってしまうのです。

また、神官や神主の気質によっては、本来その神社や神殿がつながっていた光の通路が、他の通路へとすり替わる事もよくあります。つまり、神社や神殿をお金儲けのために考えている場合や、他人を支配したり自分の欲望を満たすために、神に祈りをささげるような神官や神主は、すでに他の世界とつながっており、本来の神々への通路は途絶えてしまうのです。

過去の歴史においても、いくつもの重要な神殿がこの地球に形成されましたが、侵略や宗教的な争いによって破壊され、廃墟となってしまいました。

しかし、たとえ建物が壊されても、そこに真摯な気持ちで祈りを捧げる人達が残っていれば、神々とのつながりは保つ事ができます。皆さんが、そのような場所で、神聖なエネルギーを感じるのはそのためです。

反対に、どれほど立派な建物が残っていようと、その場所を守る人々に神聖な意識がなければ、そこはお金儲けのための建物になってしまいます。

レムリアやアガルタの神殿についても同じ事が言えます。

そこを守る神官や巫女が常に祈りを行う事で、高次の神々や星々のマスター達とつながり、神聖なエネルギーを保ち続ける事ができるのです。

かつてレムリアの神殿は、この宇宙の偉大なる創造主達と深くつながっていました。

創造主とは、皆さんも、よくご存じのように、いくつものレベルがあります。

皆さんが住む物理的な世界を持つ宇宙(ユニバース)に限って言えば、それを創造したのは創造主エンソフのグループですが、彼らのもとにユニバースのさまざまな仕事を行うブラフマンや局部宇宙を守る界王様のグループ、そして一つ一つの銀河や星団の運営を行う創造主が存在しています。

皆さんが住む天の川銀河にも、いくつもの星座の働きを支える創造主達が存在しています。

レムリアの神殿やアガルタの神殿は、これらの創造主の働きと深くつながっていました。創造主達も、地球や天の川銀河をさらに豊かなものとするために、お互いが協力しあって星々のバランスを保ち繊細な宇宙のシステムを作り上げていました。

もちろん多くのマスターや女神、天使達もそのシステムを運営するために協力しています。

皆さんは、神殿というと特定の神にのみつながっているように思われますが、「天の川銀河の12神殿」は、この天の川銀河全体を維持し活性化するための働きをもつシステムそのものなのです。

「天の川銀河の12神殿」は、それぞれが異なる役割を持ちながら、全体で一つのシステムを構成していますので、個別に存在しているわけではありません。

そしてその12神殿は、ペガサス座やシリウスによって統括されています。

さらに大きな目で見ると、天の川銀河の12神殿も局部銀河の大きなシステムの一部として存在していますし、また局部銀河のシステムもこの宇宙（ユニバース）のシステムの一部として存在しています。

この「天の川銀河の12神殿」は、ユニバースというマクロなシステムの中のミクロのシステムですが、この「天の川銀河の12神殿」のシステムが整い、特殊なエネルギーがそこから生まれてくると、ユニバース全体のシステムに変化が生まれてきます。

第2章 新たな女神族の創出

PART1 「かぐや族」の秘密

2015年6月1日の星のツアーでは、前回日巫女族を復興させたのを見ていたかぐや姫から、自分達の種族も復興してほしいというお願いをされていまして、今日はその事を行う事にしました。

もともと「かぐや族」というのは、月からこの地球に降りてきた種族です。

皆さんは、不思議に思うかも知れませんが、月には、とても優れた存在達がいて、地球の人々の感情や精神的なバイオリズムの調整を行っています。

月の引力は、地球の海の満ち引きに影響を与え、海流を生みだして海のエネルギーの循環を助けています。

また月の動きは、女性の整理の周期や出産とも深く関わっています。

この事から、月や「かぐや族」は、女性性のエネルギーと深く関わっている事がお分かりになると思います。

「かぐや族」は、レムリアの時代に、この地球に降りてきたようです。

主にレムリアの月の神殿を中心として活躍していたようですが、レムリアの崩壊とともに、その種族の多くの女性達が命を失ってしまいました。

生き残った「かぐや族」は、日巫女達と共に、古代の日本に逃れてきて活動していたようです。

主に日巫女達は、九州や四国、近畿を中心に

活動し、「かぐや族」は東北や北海道を中心にして活動していたようです。

私達は、最初にアデティーヤが待つ創造主の神殿へと向かいました。

アデティーヤ様から、メッセージが伝えられます。

「TAKESHIさん、そして宇宙の光の皆さん、本当にありがとうございます。

「かぐや族」の復興については、私も考えていたところです。

私は、皆さんに、「かぐや族」やささまざまな種族について、いろいろと教えたい事があります。

「かぐや族」が地球に降り立った理由は、この地球に女性性の目覚めを起こす為でした。

そして「かぐや族」は、皆さんを月と地球につなぐ大切な使命を持っていました。

それは、皆さんが、母なる大地と同じように、月とのつながりを作る事で、地球のエネルギーにバランスを持たせる事でした。

「かぐや族」が目覚める事で、日巫女の女性性、乙姫族の女性性と共に、さらに多様な女性性の開花を迎える事でしょう。

そして「かぐや族」も日巫女族も共に、宇宙の偉大なる女神族から生まれてきています。地球の女神族を目覚めさせるためにも、この天の川銀河の中心となる女神達に会うのもよいでしょう。

そうする事で、女神族の本質を理解し、もっと効率よく女神族を復活させてあげる事ができるかもしれませんよ。」

私は、この宇宙に女神族というものが存在している事に驚きました。

しかしよく考えてみれば、この宇宙の女神を

生み出している存在や種族があっても確かに不思議な事ではありません。

それは、おとめ座のスピカという星に手がかりがありそうです。

女神だからおとめ座というわけではないのですが、以前、天の川銀河の時間の調整のために、スピカ星に入った時に、天の川銀河のすべての女神は、スピカから生み出されたという話を聞いた事があるからです。

PART2 おとめ座の女神アストレイヤー

私達は、宇宙船フェニックス号に乗り、おとめ座のスピカ星に向う事にしました。

スピカ星は、とても不思議な星で、スピカ星と牛飼い座のアルクツールス星、そしてしし座のレグルス星が3角形を作り、天の川銀河の時間の創造に深く関与しています。

この3つの星の各星に創造主がいて大切な仕事をしていますが、スピカ星の上空には、クロノスと呼ばれる「時間」を司る女神が存在しています。

私達を、スピカ星で待っていてくれたのは、アストレイヤーという女神です。

アストレイヤーは、地球の黄金期と呼ばれる時代、地上で人間と神々が共に生きていた時代に、地球で活躍していた女神です。

しかし人間達は次第に自己中心的になり、争いや奪い合いを始め、神々にも乱暴を働くようになりました。

人間の理性が失われ、地球が荒れ果てていく様子を見かねて多くの神々が地球を去ってしまいましたが、アストレイヤーだけは、最

後まで地球に残り、地球人達を前のような素晴らしい人種に戻すために、教育を行い続けたのです。

しかし、地球はやがて1人間のあまりの愚かさのために次元降下を越してしまい、ついにアストレイヤーも地球に残る事ができず、このおとめ座に戻ってきたのです。

アストレイヤーよりメッセージをいただきます。

「私達が、かつて地球に降り立っていた時、地球は人間達のエゴによって崩壊してしまいました。

私は、最後まで地球にとどまり皆さんが立ち直ってくれる事をすぎるような思いで見っていました。

私は、多くの悲しみや絶望感に耐えながら地球に最後まで残っていました。

そして、何万年もの時を超えて、皆さんが、「天の川銀河の12神殿」の再興に取りかかつて下さった事により、地球や宇宙は新しい世界を迎える事ができるようになりました。多くのマスター達が、皆さんを見守っています。

多くのマスター達から受け取ったコードをしっかりと使用して、皆さんの意識をもっと高めて下さい。

そうする事で、あなた方から生まれた愛のエネルギーは、この宇宙を新しい世界へと誘っていく事でしょう。」

私は、アストレイヤーに尋ねます。

「アストレイヤー様、またお会いできてうれしく思います。

今日はあなたに教えてもらいたい事があってやってまいりました。

天の川銀河の女神族は、現在どのようになっているのですか。

何か女神達を指導するような場所が、このスピカ星にあるのですか。

どうか教えてください。」

女神アストレイヤーは、女神らしく優しく笑いかけてくれます。

「このスピカ星には、天の川銀河の女神族を育てる女神の学校のようなものがあり、女神の学校を卒業した者が、多くの星へ女神として派遣されていていきます。

そして、女性性のエネルギーをしっかりとその星に根付かせ、愛のエネルギーを高め一人々を幸福に導いています。」

私は、アストレイヤーに続いて尋ねます。

「天の川銀河を支え、中心的な立場で活動している女神は何人くらいいますか。」

「天の川銀河を代表している女神は、私以外にも3名の女神がおります。

この4名の女神達で、天の川銀河のそれぞれの星に対応できるように、様々なタイプの女神を生みだします。」

PART3 天の川銀河の女神族

私は、アストレイヤー様以外の女神達にも来てもらいました。

最初に現れた女神は、水色の服を着た金髪の女神様です。

彼女は、アンドロメダ座から来られた女神でお名前を女神フレイヤと言われました。

女神ビーナスのエネルギーとも深く関係している女神で、女性に幸福と豊かさを与える女神です。

次にあらわれた女神は、濃い青色の服を着た女神さまです。

女神の中でも、強い男性性を持っている女神で、マスターと一つになったような気高さを持った女神です。

女神族をより強固な種族にするためのまとめ役で女神アテネと他の女神のエネルギーが一つになって生まれたようなパワフルで聡明そうな女神です。

お名前を女神フォルティナと名乗られました。

3人目の女神はイシス様です。

イシス様は、高い叡智と多様な能力を司る女神で、スピリチュアルと物理的な活動のバランスを取る事をサポートしてくれます。

女性の気品や気高さ、容姿も含めて、女性としてのプライドを持つための光を私達に送ってくれます。

これで女神アストレイヤーを含めて、女神族を代表する4人の女神が出そろいました。

青い濃い色の衣を着た女神フォルティナからメッセージをいただきました。

「女神族の中でも、私は男性性と女性性を統合する役目を持つ女神です。

私の中では、愛にあふれた優しい女神性と力強く指導性のあるマスター性が一つになっています。

私はその統合の光を、地球に送り、皆さんの統合をサポートしてきました。

TAKESHIさんと会うのは、初めてですが、TAKESHIさんの活動をアテネと共にずっと支えていました。

そして、皆さん達がより強くなるために、私のエネルギーを皆さんに送り続けてきました

た。

私達は、これからも皆さんの中にある女神性にさらに光を与え、女神性のさらなるパワーを生みだしていきたいと思っています。」

イシス様からもメッセージを受け取りました。

「TAKESHIさん、そして皆さん、ようやく女神族の代表として、皆さんの前に出てこれた事を私はとてもうれしく思います。

あなたに、女神族の事を伝える事ができて幸いです。

私の役目は、全てのバランスをとり、様々な能力をつかさどる事です。

私が持つ宇宙のさまざまな情報や叡智を基に、その方に必要な情報やパワーを与え、能力を活性化していきます。

能力には、ご自分で自覚されている能力もあれば、そうでない能力もありますが、私達は隠された能力も活性化し、その方に新たな資質を目覚めさせていきたいと願っています。能力の中には、スピリチュアルな要素と物質的な要素があります。

私は、そのどちらにも偏る事なく、両方をバランスよく育てていきたいと思っています。そして、女性の方々に気品、気高さ、美しい身のこなしと容姿、女性としての自尊心をしっかりと持っていただけるようにサポートしていきます。」

PART4 新たな女神族の誕生

女神族の中心となる 4 大女神が現れてくださった事で、私達は、天の川銀河の女神の系

譜を知る事ができました。

私達が、先日復興した日巫女族達も、シャーマンの系譜を持つと共に、この女神の系譜の中にも入っているという事です。

アストレイヤーが、私に新たな女神族の事について話をしてくれます。

「私達は今まで、多くの女神族を育ててきました。

新たな星に叡智ある存在が生まれると、そこに女神を派遣して人類として育ててきましたし、争いやさまざまな問題を抱えた星には、数名の女神達がグループを作って、その仲裁を行った事もあります。

皆さんが、現在 12 神殿の復興に取り掛かれた事を聞いて、私達も全面的に応援するつもりです。

かつて、この天の川銀河に 12 神殿が存在していた頃も、それぞれの神殿やそれを守護する者達にも女神達がサポートを行っておりました。

残念ながら「天の川銀河の 12 神殿」の崩壊とともに、そこで働いていた女神達も失われてしまいましたが、私達は、あなたが 12 神殿を復興するに当たり、新たな女神の種族を生みだし、神殿の光をつないでいきたいと思っております。

それだけ 12 神殿は特別なものであり、能力の高い女神を必要としているのです。

その女神達が、「天の川銀河の 12 神殿」と地球に作られた神殿をつないでいく事でしょう。」

「アストレイヤーさま、そして女神族を支える女神達よ、大変ありがとうございます。私達も、皆さんが協力してくださる事で、地

球と宇宙に素晴らしい12神殿を作り、この宇宙をますます豊かで愛に満ちたものにする事ができると思います。

12神殿が持つ働きが、活性化する事で鳳凰の女神の望みにも応える事ができると思います。

それでは、皆さんの力を合わせて12神殿を守る女神族を作ってもらっても良いですか。」

4人の女神とハトホル様と私が加わって円を作り手をつなぎます。

私はそこに黄金の女神、ダイヤモンドの女神、宇宙の意志、神聖なる愛の女神を呼びます。彼女達の光が、私達を取り囲むように輝き始めます。

私はさらに、この宇宙を守護するユニバーサル・エンジェル達も呼びます。

ユニバーサル・エンジェル達のさまざまな光が、私達を照らしています。

天の川銀河連合のマスターや騎士団達もやってきて見守っています。

私は、最後に鳳凰の女神の名前を呼ぶと、とても大きなフェニックスが現れ、私達の上に金色の粉を降り注いでいます。

私達の体がとても熱くなり、光の中に閉ざされ何も見えなくなります。

やがて光の中から、美しい女神様が一人出てこられました。

バラの花を天使達が巻いて祝福しています。手にしたラッパを吹いて、女神の誕生を喜んでいる天使達もいます。

周りを取り囲んでいた騎士団やマスター達も歓喜の声を上げながら、女神を祝福しています。

現れた女神は、古代ギリシアの女神のように、

美しい布をまとった姿で現れました。
背中には、天使の羽をもった気高い女神です。
もちろん、4人の女神達の資質を受け継ぎ、
「神聖なる愛の女神」の能力も分かち合われてきた女神です。
私は、新たに生まれた女神に女神フィリアという名前を付けました。
フィリアという言葉は、ギリシア語で「愛」「友情」「つながり」という意味を持つ言葉です。

私は、生まれたばかりの女神フィリアにあいさつをします。
「偉大なる女神フィリアよ、あなたの誕生を、
天の川銀河のすべてのマスターや騎士団が喜んでいきます。
天使やフェアリー達も、あなたの気高き光が生まれた事を祝福しています。
これから、私達とともに、「天の川銀河の12神殿」の復興のために共に働いてくださるようお願いします。」

女神フィリアは、光り輝く羽を動かしながら答えます。
「初めまして、皆さんの偉大な光から、私は生まれました。
私の中には、皆さんの愛と叡智が輝いています。
どうか、この光を私が十分に活かす事ができるよう、お導きください。」

私は、この女神を、アストレイヤー達に預けて、女神の種族がたくさん生まれてくるのを待ちたいと思います。

PART 5 女神の種族からのメッセージ

今回新たに女神族のアチューメントを作る事となりメッセージをいただきました。

私達が、皆さんと共に働く事ができるようになった事を心から嬉しく思います。

私達は、この天の川銀河で神聖なる愛の女神や創造主様達と共に活動しています。

女神の働きは、皆さんもよく存じのように、この宇宙の創造のお手伝いをする事です。

人間の女性の方々がそうであるように、女神の母体から、この宇宙を創造するエネルギーが生まれてきます。

女神達は、この宇宙においては、愛と創造の象徴です。

鳳凰の女神や神聖なる愛の女神がそうであるように、絶える事のない愛によって、この宇宙と宇宙に生きるすべての生命達を創造していきます。

女神自身も愛によって生まれ、愛を分かち合う存在なのです。

愛はすべてを生み創造すると共に、愛の力により物事はすべて変容し成長していきます。愛はすべてを癒し、安らぎの世界へと導きます。

皆さんが存在している世界では、一人の女神では愛のすべてを表現する事は不可能です。それ故に、様々なタイプの女神が存在して、愛の重要な側面を表現しているのです。

今回皆さんによって、新たな女神の種族が生まれ出されました。

私達はその事を大変うれしく思っています。私達も、地球や宇宙がどんどん進化して統合されていく中で、いくつもの役割に分化されていた女神が一つに統合され、より完全な愛の姿を現す事ができればと考えていたから

です。

それは、神聖な愛の女神様の姿をこの物理的な宇宙の中に現していく事でもあります。

天の川銀河の女神族は、4人の女神とその女神を統括する女神から生まれた事を皆さんにもお知らせしました。

そして女神達に統合のエネルギーを与える事で、素晴らしい新たな女神が生まれました。それが女神フィリアです。

私達は女神フィリアが生まれる事により、それぞれのエネルギーと資質を分かちあって、より完全な女神になる事ができるようになりました。

自分が持っていない女神の資質を他の女神から分かち合ってもらえる事ができますし、自分が必要とする能力も他の女神から育ててもらえる事ができるようになりました。

私達が今まで行ってきた女神の教育も、今まで以上に速やかに、そして統合のエネルギーを持って行う事ができるようになりました。私達は、この女神の統合のエネルギーを基にして、皆さん達と新たな女神性を分かち合っていきたいと思います。

皆さん一人一人の中にも素晴らしい女神性がありますが、私達の新たな光は、その女神性をさらに高め統合を行っていきます。

皆さんの中にある女神性を見極め、皆さんが十分持ち合わせていない女神のエネルギーを分かち合っていきます。

また、傷つけられた女神性もあるかもしれません。

苦しみや悲しみの中で失われていった女神性もあるかもしれません。

私達は、統合の光によって、傷つけられた女神性も癒していきましょう。

また失われた女神性があるならば、それを再生させていきます。

それは、一人の女神で済む事ではなく、異なるエネルギーを持つ4人の女神のエネルギーがその人に必要としているエネルギーを作り出し、より完全な女神へと導いていく過程です。

そして、私達のエネルギーの統合から生み出された統合の女神フィリアのごとく、あなたをより高次の女神へと導いていく事となるでしょう。

私達を生み出した「神聖なる愛の女神」の愛によって、私達が生まれたように、あなたの魂もスピリットも、そして人としての意識も、新たな女神として生まれ変わっていく事でしょう。

第3章 かぐや族の救出

PART 1 「かぐや族」の秘密

私達は、スピカ星で新たな女神の種族を生み出した後、「かぐや族」を助けるために地球に戻ります。

創造主の神殿で、「かぐや族」の復興の方法について話をするためにかぐや姫を呼び出します。

「かぐや姫よ、これから「かぐや族」の復興のための仕事をしますが、どのような形で復興しましょうか。」

私はかぐや姫に尋ねました。

「TAKESHIさん、本当にありがとうございます。

私もこの日をずっと待っていました。

「かぐや族」の復興に関しては、実は私の一存では決められないところがありますので、「かぐや族」のリーダーも呼んでいただいて話をしたいのですが、お願いできますか。」

私は、かぐや姫の言葉を聞いて、「かぐや族」のリーダーに、ここに来てくださるようお願いしました。

この方は、私達の目には、少し年老いた女性のように見えてきます。

「あなたが、「かぐや族」のリーダーですね。私達は、今、かぐや姫と、どのようにして「かぐや族」を復興させるか話をしていたところですが、かぐや姫が、ぜひあなたから意見をきいてくださいとの事でしたので、お呼びいたしました。」

「今回は本当にありがとうございます。
地球に派遣した「かぐや族」の仲間達は、レムリア時代の月の神殿で活躍していたのですが、消息を絶ってしまったのでとても悲しんでいたところです。

私達、「かぐや族」は、この地球をととても愛し大切に思っております。

そのような優しい心を持った「かぐや族」をどうか助けてください。」

「わかりました。

それでは、時代をさかのぼってレムリアの月の神殿に行きたいと思いますが、一緒に行かれますか。」

「いえ、私はだいぶ弱っていますのでかぐや姫に行ってもらいます。」

私は、「かぐや族」のリーダーが、私達が思っているよりも弱っている事に気づきました。

私は、「神聖なる愛の結晶」をリーダーに渡すと、リーダーは喜んで、その結晶をハートに入れます。

すると、リーダーは、とても元気になり、一緒にレムリアに行く事になりました。

PART 2 レムリアの月の神殿での救出

私達は、天の川銀河連合の騎士団とともに、フェニックス号に乗り込み、時間をどんどんさかのぼっていきます。

私達がついたときには、レムリアの月の神殿は、だいぶ破壊されているようです。

私達は、瞬時にこの時代の時を止め、破壊活動がこれ以上進まないようにしました。

そして、フェニックス号から、小型の船をたくさん地上におろし、天の川銀河連合の騎士団達が地上に降り立ち、逃げ惑っている「かぐや族」のメンバーを小型船に乗せ、次々と運んでいきます。

空を飛べるケンタウルスやペガサス族は、直接「かぐや族」を背中に乗せ、フェニックス号に運びます。

フェニックス号には医療施設も整えていますので、たくさんのベッドや医療器具が準備されています。

天使やフェアリー達がここでは看護婦さんです。

運ばれてくる「かぐや族」達を、ベッドに収容し手当を行っています。

コロボックル達も岩かげにいる「かぐや族」を見つけ出しています。

中には、すでに壁に挟まれたり、岩の下敷きになっているメンバーもいるようですが、騎士団達は力をあわせて助けだしています。

しばらくすると、ほとんどの「かぐや族」を助け出したようです。

フェニックス号の生命探査装置にも、反応がなくなりましたので、私達は、現代へと帰る事にしました。

「「かぐや族」のマスターよ、傷ついている仲間達も多いようですが、彼女達をどうしますか、

どこかの神殿に収容してもよいし、一度月に戻ってもよいかもしれません。」

「TAKESHIさん、そして皆さん、本当にありがとうございます。

私達の大切な仲間達を救ってくださり、心か

らお礼申し上げます。」

そうってリーダーとかぐや姫は、私達に深々と頭を下げます。

「できましたら、彼女達を一度月に戻してくれますか。

彼女達の心と体を癒してあげたいのです。」
私は、船長に月に向うようにお願いしました。そして、傷ついた「かぐや族」をいたわるように、「神聖なる愛の女神」の光を満たし、愛の結晶を、彼女達のハートにいれていきます。

私達は、フェニックス号で月へと向かいました。

月に着くと、月の住人は、私達にはかわいいウサギのようにも見えます。

皆さんが、たくさん集まって私達を歓迎しています。

元気になった「かぐや族」は、自分の足で歩いてフェニックス号から降りていきます。傷付いている仲間達は、騎士団が丁寧に運んでいるようです。

私達も、フェニックス号を降りて、かぐや姫達と共に月の神殿に向います。

月の神殿はとても静かなエネルギーで満たされていましたが、中心にあるクリスタルはとても小さくパワーが弱っています。

私達は、フェニックス号にお願いして、新しくパワフルなクリスタルへと交換してもらいました。

すると、今までは、三日月くらいの明るさだったのですが、一気に満月くらいの明るさに変わっていきました。

これで、月の神殿も「かぐや族」も元気に生まれ変わる事でしょう。

私達のメンバーも、この時期体調を崩している人がたくさんいたようですが、この「かぐや族」の救出とともに、皆さん体調がよくなったようでした。

やはり、宇宙の光のメンバーの中にも、「かぐや族」のスピリットが生まれ変わってきた人達がいるようです。

PART 3 「天の川銀河の12神殿」を支える鳳凰のシェンロン達

次に行う仕事は、12神殿の生命力ともなる神殿のシェンロン達を生み出す事です。

12神殿は、とても高次の光に支えられて存在する事になります。

そのためには、通常のドラゴン達ではなく、さらに高い能力と高次のエネルギーを保持できるパワーが必要とされます。

私は、鳳凰の女神さまとダイヤモンド・シェンロンをはじめ、高次の世界にいるシェンロン達に来てもらいました。

そして12神殿の女神達を務める事となる女神族の4人の女神とハトホル様、そして新たな女神族の象徴である女神フィリア様にも来てもらいました。

今回は、ダイヤモンド・シェンロンを中心に崇高のシェンロン、創造と叡智のシェンロン達を中心に置きます。

そしてシェンロン達を女神達や鳳凰族が取り囲みます。

私は、創造主エンソフ様、神聖なる愛の女神、鳳凰の女神にあらたなシェンロンの一族を作ってくれるようお願いしました。

シェンロン達と女神達で作った大きな輪の中に、赤や黄色、紫、青色などの多彩な光が次々と送られていきます。

大地のマスター、ウイング、太陽神なども皆で見に来て祈りを込めています。

高次の創造神の世界からも、黄金の女神、ダイヤモンドの女神、宇宙の意志などもサポートに来てくれている事がわかります。

この新たなシェンロンの種族が生まれたたら、物理世界、スピリット世界を問わず、最高レベルのシェンロン達が生まれてくる事に間違いはないからです。

大きな光のドームが生まれ、シェンロン達や輪を作っている女神達の姿を次々と飲み込んでいきました。

そしてそのドームから、かわいらしい赤ちゃんシェンロンが現れてきました。

見守っていたメンバー達が、大歓声を上げます。

そのシェンロンは、通常のシェンロンとはかなり形が異なっているようです。

どちらかというと鳳凰のしっぽや翼を持っているようで、シェンロンの能力とパワーを持ち、鳳凰のように宇宙を早いスピードで飛ぶような存在になっていくのかもしれませんが。

私は、ドラゴンの聖地の黄金のシェンロンと白銀のシェンロンを呼び出し、この鳳凰族のシェンロンを預かってもらい、ドラゴンの聖地で育ててもらおう事にしました。

10体ほどのシェンロン達がにぎやかに鳴いています。

この鳳凰のシェンロン達が、ドラゴンの聖地

で暮らす事により、ドラゴンの聖地のドラゴン達にも、大きな進化が起きてくる事でしょう。

PART4 バミューダ・ト

ライアングルの秘密

PART 1 闇に捕らわれたマスターの救出

私は創造主エンソフ様の指示で1人のマスターを助け出すことになりました。

そのマスターは闇のエネルギーの働きに関わるマスターのようです。

エンソフが私達に詳しい説明をしてくれました。

「全ての宇宙の創造は、光と闇の相互の関わりから全てのものが生まれてきますので、光も闇も創造を行うためには欠かす事ができないエネルギーです。

特に闇の存在は、この宇宙に存在するエネルギーのうち1人間の意識や感情と深く結びついています。

つまり闇は怖いもの恐ろしいものというイメージがついてしまっているのです、そこにさまざまなエネルギーが集まり、エネルギーの吹き溜まりによってなってしまうのです。

そうすると闇は光からも愛からも切り離され、エネルギーの循環から外れてしまい滞ってしまいます。

そうなるとそこに踏み込んだ存在が、闇の中に閉じ込められてしまう事がよくおこります。

このマスターも、そのようにして愛から切り離された闇のエネルギーによって閉じ込められてしまったのです。

その中に閉じ込められてしまうと、そこは次元が降下し、通常の世界と異なる世界となりますから、通常のマスターや女神では、入る事ができなくなってしまいます。

皆さんの特別な能力によってのみ、その世界に入る事ができるのですが、安全を考えて、パワフルな仲間達と共にその世界へと入ってください。」

私達は、エンソフの導きの元、フェニックス号で、大きな闇の世界に入っていきます。フェニックス号の中にいる間は安全ですが、何が起こるかわかりませんので用心が必要です。

私達の周りを、高次のシェンロン達が寄り添うようにして闇の中を進んでいきます。

私達は、どんよりとしたエネルギーがうごめく闇の中を探索しています。

ようやくフェニックス号がそのマスターの存在を見つけたようですが、すぐに救出するわけにはいきません。

まず、マスターの周りを光で包み、彼から、淀んでいる闇のエネルギーを切り離していかなければなりません。

神聖なる愛の女神、鳳凰の女神の光で闇に捕らわれたマスターの周りを光で包み浄化していきます。

周りが明るくなると、その光の中で横たわっている闇に捕らわれたマスターの姿が見えてきます。

そして、創造主エンソフの力で、黒のマスターから淀んだ闇のエネルギーを少しずつ切り離していきます。

ようやく光の中から闇のエネルギーを分離する事ができました。

私はその光の玉の近くに近づき、シェンロン達のサポートによって、彼をフェニックス号に収容する事ができました。

フェニックス号の医療班で治療を受けていますが、かなり憔悴しきっていますので回復するには時間がかかるようです。

いつものように、神聖な愛の女神の結晶を入れますが、大天使ハニエル達もサポートに来ているようです。

私達は、闇に捕らわれたマスターを助け出した後、この場所にできた巨大な闇を光に返さなければなりません。

私達は、この闇の中に、鳳凰の女神達の光を導きました。

しかし、その時宇宙船が、ガクッと大きく揺れました。

何かの大きなエネルギーに捕まった感じです。

私はすぐに、フェニックス号の船長のもとに駆け寄ります。

船長は真剣な顔でコンピューターを操作しています。

船長は、モニターに映し出された闇の中に光る3つのエネルギーを指さします。

それは決して美しいものではなく、闇に光る獣の目の様な不気味さを感じさせます。

そこから何か大きなエネルギーの不調を起こすような波動を出しています。

メンバー達の数名が、気分が悪くなった様な感じです。

「船長よ、ここはもしかするとバミューダ・トライアングルの上にいるのではないですか。」

「TAKESHIさん、どうもそうらしいです。」

この闇のエネルギーは、バミューダによって作られたものだとするれば、これは危険です。いくつも罠が仕掛けられている可能性があります。」

私達は、前からバミューダ・トライアングルに眠る黒のクリスタルを何とか処理してほしいと創造主達にいわれていました。

その時は、さほど気にしていなかったのですが、私達はいきなりバミューダ・トライアングルの罠にはまってしまう事になったのです。

PART2 バミューダ・トライアングルとアシュタール

私達のフェニックス号も、一度罠にとらえられて制御を失ってしまったのですが、今は少し体制を整えました。

以前から、バミューダ・トライアングルにある闇のエネルギーで黒く染まったクリスタルを浄化してほしいというメッセージをうけとっていましたので、この場所の事は大変気になっていたのですが、ここまで強いエネルギーを持っているとは思いませんでした。

私は、このバミューダ・トライアングルがどのような状態になっているのか、アシュタールのエレナさんと呼び出して聞いてみました。

この場所には、アシュタールのグループの中でもエレナさん達とは、考え方が異なる第2アシュタールという存在がいるようです。

アシュタールというのは、この宇宙をより良

い樂園にするために活動しているグループで、様々な銀河や星から優秀なメンバー達が集められているグループです。

しかし、このアシュタールというグループの中には、エレナさんやミサガさんのように、愛を持って丁寧に人々を育てていこうと考えるグループと様々な障害を人々に与えて、それを乗り越えさせる事で、一気に成長させようとするグループがありました。

以前までは、1つのアシュタールの中でなかよく調和を持って活動していたのですが、この2番目のグループの活動がかなり激しくなり、予想される以上のトラブルや多くの人を傷つけてしまう問題を引き起こしてきたようです。

アシュタールは、やがて2つのグループに分裂してしまい、2番目のグループは、離脱してしまいました。

エレナさん達は、このグループと再び、交渉を行い、また以前のように一緒に活動していきたいようですが、現在では、彼らと交渉を行う事ができないような状況です。

そのために、エレナさん達は、私達にそのアシュタールの統合について協力を求めているのです。

私はこのバミューダ・トライアングルに、第2アシュタールが関与しているかどうかエレナさん達は確認しているようです。

「TAKESHIさん、バミューダ・トライアングルには、第2アシュタールのグループが大きく関与しています。

ここにある強力なネガティブなエネルギーを利用するために、ここをベースとしています。

ここにはいくつもの強力な罫が仕掛けられているのでとても危険です。

そして、ここにはアシュタール以外にも、たくさんの存在がいて、エネルギーがとても混乱し、渦巻きのようにさまざまなものを引き込もうとしています。」

私は、なにか理解できない存在達のエネルギーを感じています。

「バミューダ・トライアングルに関しては、今の時点に入るのは決して望ましい事ではありません。

もっとこの場所の事を研究して、仲間達をそろえてから対処したほうがよいでしょう。」

私達は、エレナさんの忠告に従って、いったんこの場所から避難する事にしました。

フェニックス号の船長は、船を大きく反転させ、バミューダ・トライアングルを抜けていきます。

創造主エンソフも私にメッセージを送ってきます。

「これはとても根深い問題です。

すぐに解決する問題ではありません。

バミューダ・トライアングルの中に潜む罫を解決する事や問題を知る事も大切ですが、地球の多くの種族を目覚めさせる事や他の隠された神殿を復興させる事で、地球のポータルを整えたほうが良いでしょう。

いずれ皆さんの力によって、このバミューダ・トライアングルは正常なものとなる事でしょうが、それまでは、このバミューダ・トライアングルに皆さんの愛を送ってください。」

私達は、このバミューダ・トライアングルの問題を解決するまで、シェンロン達をここに

配置し、バミュータ・トライアングルの影響を少しでも抑える事にしました。

そして私達は、創造主の神殿に戻り、様々なマスターとバミュータ・トライアングルの仕組みとそこに仕掛けられた罠について話をしましたが、なかなか決め手となるようなアイデアが浮かびません。

バミュータ・トライアングルのエネルギーを一時的に抑える事はできてても根本的な解決にはならないのです。

PART 3 白銀と黄金の鳳凰のマスター

私達は、この問題の解決方法を求めて、鳳凰の女神さまに会いに行く事にしました。

そして、鳳凰の女神さまのほかにも、鳳凰のマスター達がいらっしゃるという事でしたのでその方達にも会いに行きたいと思っておりました。

私達がフェニックス号に乗って、鳳凰の女神さまの次元に入っていくと、大きなフェニックスが私達を先導してくれます。

鳳凰の女神さまのもとに到着すると、鳳凰の女神さまが現れましたので、私達は他の鳳凰族の方にもお会いしたいとお願いしました。

鳳凰の女神さまは、にっこりと笑って白銀色の大きなフェニックスを呼ばれます。

すると白銀色のフェニックスが、その巨大な羽をはばたかせて現れてくれました。

私達は、鳳凰の女神とともに、白銀色のフェニックスの後を追うようにして光の中を進んでいきます。

やがてフェニックスが光輝く世界に入ると、そこには白銀色に輝く鳳凰のマスターが待っていてくれました。

マスターの前に大きなクリスタルがあり、私達はそこで光を分かち合います。

するとそこに、一筋の黄金色の光が差し込んできて、私達をさらに高い次元へと導いてくれます。

そこに待っていてくれたのは黄金のフェニックスと黄金色に輝く光に包まれた黄金の鳳凰のマスターです。

私達が、この世界まで来れた事をマスターはとてもうれしそうに喜んでいます。

黄金の鳳凰のマスター、白銀の鳳凰のマスターそして鳳凰の女神が、私達を歓迎するように光を放ってくれます。

黄金の鳳凰のマスターから、私達にメッセージをいただきました。

「皆さん、私達鳳凰の種族のもとに来ていただき本当にありがとうございます。

私達も、地球のバミュータ・トライアングルに関しては、大変苦慮しております。

そこに満ちあふれる闇のエネルギーを、闇本来の働きに戻していきたいと心から願っております。

そのためには、闇をどうにかするのではなく、闇の真理に触れていただき、闇の事をもっと学んでほしいのです。

闇のエネルギーが正しい宇宙のエネルギーの循環となるように、闇のエネルギーをしっかりと受けとめる事が必要なのです。

闇のエネルギーの中にも宇宙の真理が存在します。

いくつもの重要な宇宙の次元にもつながっています。

確かにバミューダ・トライアングルの闇のエネルギーは、現在正常ではない状態ですので、その闇のエネルギーに愛のエネルギーを与えて、他の世界に影響を及ぼさないように、光の柱を建てて欲しいのです。

闇のエネルギーが愛のエネルギーと一つになる事で、現在のよどみが解消されて正しい循環が起こり始めます。

そうすると、バミューダ・トライアングルも、きちんとしたワックスの次元にあがり、地球がアセンションを迎える事を大きくサポートしていく事でしょう。

シェンロン達がバミューダ海域を守る事で、あなた方が闇のエネルギーに脅かされる事も少なくなるでしょう。

そして、皆さんの愛のエネルギーを強くして、心をつなげ、バミューダ・トライアングルに立ち向かえる力をつけていただきたいのです。

皆さんの素晴らしい愛を地球に送り込む事で、ガイヤ様を通して、バミューダ・トライアングルを調整する事ができます。

バミューダ海域に、強い愛のエネルギーを送る事で、第2アシュタールも闇から解放される事になるでしょう。

闇のエネルギーを目前にして、不安になり恐れを抱く人もたくさんいらっしゃるでしょう。

しかし、この闇の歪みは人間達が生みだしたものである事も認識してください。

その事を正しく認識する事で、不安に立ち向かう力をつける事ができます。

そして皆さんの心の中に強さと愛が目覚めてくると、宇宙の多くのマスター達が、皆さんをさらにエンパワーメントしていきます。皆さんの愛の柱が太くなっていく事で、宇宙と地球の次元がさらに強固なラインでつながり、地球の中心軸もしっかりとしていく事でしょう。

私達は、皆さんが、バミューダ・トライアングルだけでなく、この宇宙の闇の本質を取りもどしていただけるように祈りっております。

そして、あまり深刻にならずに、幼子の様な探究心をもって楽しく進んでください。

この地球の 3 次元を、心から楽しんでください。

この現実の世界でも、皆さんの魂の本来あるべき姿を見つけ出し、皆さんの現実とスピリチュアルな世界を統合して行ってください。その事が、バミューダ・トライアングルだけでなく、これから皆さんが行うすべての活動において、大切な力となっていきます。」

PART 4 バミューダ・トライアングルに光の柱を立てる

私達は、その言葉を受けてバミューダ・トライアングルに光の柱を降ろすために、メンバー全員で祈りました。

祈りが終わるとメンバー全員でお互いが受け取ったメッセージや感想を分かち合います。

光の柱を降ろす事で、宇宙の真理が地球に流れ込み、光と闇のエネルギーが、新たに循環を始めたように見える方もいれば、共に祈る事で、このような恐れや不安の絡み合った状

況を解決していくためのパワーと勇気に目覚めた方もいらっしゃると思います。

また鳳凰の女神さま達から、それぞれの皆さんに大切なメッセージをいただきましたので要約してお知らせします。

「通常の人々は闇の存在さえもきちんと見る事ができないのに、皆さんは光と闇がこのような存在し、光と闇の関係性さえも理解してくださいました。

闇の本当の姿を知る事で、皆さんは大きく成長していく事ができるのです。

光と闇の正しい働きと循環を理解し1人間の潜在意識の中にある闇を恐れ憎む力を変えていってください。

闇を不安に思う気持ちを捨てて闇を見てください。

バミュダ・トライアングルは、黒い光を発していますが、本当は救いを求めている事がわかれると思います。

闇に対する考え方が変わる事で人類の潜在意識が大きく変わる時期を、皆さんは迎えているのです。

現実世界でも、その恐れや憎しみを解消するために、闇に対する正しい認識を分かち合ってください。

皆さんの絆が一番大切です。

皆さん同士が深くつながる事により、皆さんの心の中から大きな安心感が広がり、この宇宙が喜びのエネルギーに満たされていきます。

皆さんの前には、試練がこれからも現われてくると思いますが、皆さん自身と私達を信頼してください。

私達は、いつも皆さんのそばで、皆さんを助けていきます。

あるがままに、自分の中にある色眼鏡をはずして、プラス面もマイナス面も楽しんで受け取ってください。」

私達は、鳳凰の女神の言葉を、実感を持って受け止めています。

この祈りに参加したメンバー達が、この祈りを通してさらに強く結ばれていきます。

PART 5 バミュータ・トライアングルの謎と鳳凰族

今回の星のツアーの翌日、愛菜さんの個人アチューメントでバミュータ・トライアングルの大切な秘密が一気に明かされる事となりました。

愛菜さんの「エンジェル・レイ」のアチューメントで、私達は天使の星から、ユニバーサル・エンジェルやユニバース（単一宇宙）の最高次元にいる「ホーリーエンジェル」のもとに行き、バミュータ・トライアングルの事について聞いてみました。

すると予想さえもしない答えが返ってきたのです。

「TAKESHI さん、お久しぶりです。

皆さんが「天の川銀河の12神殿」に取り組んでいらっしゃる事は、私達もよく知っています。

天の川銀河の天使の星のメンバー達やユニバーサル・エンジェル達が皆さんの事を助けてくれる事でしょう。

確かにバミュータ・トライアングルは大変で

す。

あそこには闇に落ちた鳳凰族の一人が捉えられているからです。」

私は、一瞬耳を疑いました。

「鳳凰族が捉えられていると、おっしゃいましたか。」

「そうです、鳳凰族がそこにいるのです。」

宇宙の最高次元の創造主の1人である鳳凰族のマスターが闇に囚われているとは、とても信じがたい事です。

私達が鳳凰族のマスターと話をした時も、バミュダ・トライアングルに関しては、まだ準備が整っていないから、待ってくれと言っていた事を思い出しました。

私はその時、宇宙の最高次元にいる創造主が、地球のバミュダ・トライアングルごときで、何を躊躇しているのだろうと不思議に思っていたのですが、その闇の奥底に鳳凰族が捉えられているとすれば、それは簡単には解決できない問題である事に間違いありません。私の中でいくつもの謎が解けていきます。

私はその事を確認するために、急いで鳳凰族のもとに行きます。

鳳凰の女神と白銀の鳳凰のマスターを伴って、黄金の鳳凰のマスターのもとに行きます。

「黄金の鳳凰よ、昨日は、私達を迎えてくださり本当にありがとうございました。

今日はお伺いしたい事があって来たのですが、教えていただけますか。」

「TAKESHIさん、もちろんです。何を知りたいのですか。」

黄金の鳳凰が答えてくれます。

「バミューダ・トライアングルの事ですが、その中に鳳凰族が閉じ込められているという話を聞いたのですが本当ですか。」

鳳凰の女神と白銀の鳳凰のマスターは、鳳凰族の最大の秘密に私達がふれた事を驚いているようです。

黄金の鳳凰のマスターは、私の顔をしばらく見つめます。

重い沈黙がしばしの間流れた後、黄金の鳳凰のマスターが口を開きます。

「TAKESHI さん、皆さんがその事にいずれ気がつくであろうと、私達も思っていました。本来であるならば、私の口からお話しすべき事であったのですが、皆さんの心の準備ができるまではと、ためらっておりました。

しかし、それは私達自身が本当の事を皆さんに告げる事を恐れていたのだと私達もわかりました。

確かにそうです。

そこには鳳凰族の一人が闇のエネルギーにつかまり閉じ込められています。」

私は、ホーリーエンジェルから聞いた事が本当であった事に安堵しましたが、同時に鳳凰のマスターが閉じ込められているのでは、うかつには手が出せません。

「TAKESHI さん、実は鳳凰族にも光の鳳凰族と闇の鳳凰族があるのです。

光と闇の鳳凰族が力をあわせて、この宇宙の最高次元で、宇宙の創造に関わっているのです。

光の鳳凰族が、私達3人であるのと同じように、闇の鳳凰族も3人いました。

しかし、その中の1人が、あるべき事ではな

いのですが邪心に囚われてしまい、私達鳳凰族のすべてを支配しようと考えてしまったのです。

そのために、光と闇のバランスが崩れ、宇宙の創造の原理も歪み、宇宙のエネルギーの循環も壊れていきました。

そして彼は、地球のバミューダ・トライアングルの中にある大きなエネルギーのひずみの中に吸い込まれていったのです。

本当に恥ずかしい話なのですが皆さんもご存じのように、光と切り離され、正常な働きを失った闇の中には、私達は入っていきません。

そのために、皆さんがバミューダ・トライアングルに意識を向け、闇の中に愛の光をおくりこむ事で、閉じ込められた鳳凰族の1人を助けていただけるように仕向けたのです。

本当に申し訳ありませんでした。

現在は、光の鳳凰族が3人、闇の鳳凰族が2人でエネルギーのバランスが取れず、あちらこちらで歪みが生まれているのです。

私達は、それを少しでも早く改善しなければなりません。

どうか、私達に皆さんの力を貸してください。」

私はその時、昨夜の星のツアーの時、1人でバミューダ・トライアングルに奥深く入っていった事を思い出しました。

それは、ツアーに参加していたメンバーと共に、バミューダ・トライアングルに光の柱を立てるために祈っていた時の事でした。

私は、スピリットとなり、バミューダ・トライアングルの底を目指して降りていきまし

た。

深い闇の中をどんどん降りていくと、とても苦しく寂しいエネルギーが次第に強くなっていくのを感じます。

バミュダ・トライアングルの底まで降りていくと、そこには孤独の中、不安と恐怖の中で救いを求めているスピリットがいたのです。

私は、そのスピリットの1部だけを救い出し、バミュダ・トライアングルを登って戻ってきたのです。

私はその後も、そのスピリットが持つ悲しみのエネルギーにしばらくは囚われていました。

おそらくその存在が、そこに閉じ込められていた鳳凰族の一人だったのでしょう。

私のハートの中には、救い出したその存在の一部が、心に刺さった針のように残っています。

私は黄金の鳳凰に尋ねます。

「それで、あなたの仲間の鳳凰族の誰が捕らわれているのか教えてください。」

「そこに捕らわれているのはラピスの鳳凰と呼ばれている者です。

彼は闇の鳳凰族のリーダーであり、私達の中では、最も勇気とパワーに満ち溢れた存在です。」

私は、黄金の鳳凰を慰めるように言いました。

「偉大なる鳳凰よ、安心してください。

私達は必ず、バミュダ・トライアングルの底からラピスの鳳凰を救出して戻ってくる事でしょう。

そのために、あなた方の事をもっと教えてください。

あなた方が6人いるという事は、あなた方を
生み出した存在がいるという事ですね。
彼を助けるためには、その方達のお力が必要
です。
どうか、その方のところに私達を連れて行っ
てください。」

PART5 鳳凰族を生み出したソフィア族

私達は、黄金の鳳凰族に連れられて光の世界
をさらに上がっていきました。
そこには、1人の風格があるマスターが、私
達を待っていました。
その方のお名前は、ゴッド・オブ・ソフィア
と呼ばれる方でした。

「TAKESHIさん、あなた方にお会いする日
をずっと待ち望んでいました。
黄金の鳳凰からお聞きになられた事と思い
ますが、私達が生み出した鳳凰の種族の一人
が、闇にとらえられバミュダ・トライアン
グルの中に眠っています。
創造主の種族でありながら、そのような事
になってしまった事を、私達は非常に深く悲し
んでいます。

本来であるならば、私達は生きとし生けるも
の達をすべて光の世界に導き、この世界を愛
にあふれる豊かなものにしていかなければ
ならない存在なのですが、それが自ら、あ
のような大きな闇の渦巻きを作ってしまうと
は、本当に悲しい事です。

できる事なら、私自らが、あの中に飛び込ん
で大切な息子を救ってあげたいのですが、そ
れができないばかりに、ここで嘆き悲しんで

おりました。

そして、あなた方が、この事に気づいていただき、鳳凰族の救いとなってくださる時を心から願っておりました。」

ゴッド・オブ・ソフィアは、鳳凰族を生みだし、この宇宙の創造を命じている創造主です。もちろん私達にとって、ソフィア族はもっとも高い次元に属する創造主である事は言うまでもありません。

ゴッド・オブ・ソフィアは、私達の前では、非常に威厳のある姿で現れていますが、本来は、今まで以上に輝く大きな光である事でしょう。

「ゴッド・オブ・ソフィアよ、私達にその事を打ち明けてくださり大変ありがとうございました。

さぞかしおつらい時を過ごされた事と思います。

私達も、すぐにでも助けに行きたいのですが、バミュダ・トライアングルには、様々な罨やネガティブな存在達がいて、私達も未だ手が出せない所です。

誰か私達を助けてくださる方はいませんか。」

私はゴッド・オブ・ソフィアにお願いをしたところ、ゴッド・オブ・ソフィアは快く引き受けてくれました。

「もちろんです。私達の仲間を呼びましょう。彼があなたの事を助けてくれる事でしょう。」

PART6 ソフィア族の光の騎士

ゴッド・オブ・ソフィアがそのように言うと、ゴッドのそばに、一人の若いマスターが現れ

ました。

「ゴッド・オブ・ソフィアよ、お呼びでしょうか。」

と彼は、ゴッド・オブ・ソフィアの前にひざまずきます。

「いよいよ、時が来た。

どうか TAKESHI さん達と共に、我々の願いであるラピスの鳳凰の救出を行ってください。」

「それは喜ばしい事です。

私の力の限り、TAKESHI さん達と共に働きましょう。」

彼は、私の方を向くと、にっこりと笑って手を差し出します。

私も彼の手を取り挨拶をします。

「どうかよろしく願いいたします。

まずあなたの役割を教えてくださいませんか。」

「私は、この宇宙の治安を守るものです。この宇宙のさまざまな問題を解決して、この宇宙が健やかに成長していくように力を尽くしています。」

「それでは宇宙警備隊のボスみたいな存在ですね」

彼は、宇宙警備隊やボスという言葉がよく分からなかったらしく戸惑った顔をしています。

「失礼しました。

私達は、この宇宙の治安を守るグループとも共に活動しており、彼らの事を宇宙警備隊と呼んでいます。」

彼は、その言葉を聞いて、「まあ、同じようなものです。」と苦笑いをしてうなずきます。

「それでは、あなたはバミュータ・トライア

ングルの中に入って、鳳凰のマスターを救出する事はできますか。」

と私は若いマスターに尋ねました。

「残念ながら、私達は単独であの中に入る事はできませんが、あなたのお供をする事はできます。

そして、鳳凰のマスターが救出された後に、とても大きなエネルギーがそこから発散されると思われますので、そのエネルギーの処理を行います。

鳳凰のマスターが、救出される時に出るエネルギーは、以前あなた方が、地球の中心軸を修正した時に放出されたエネルギーとは比べ物にならないほどのエネルギーです。

そのエネルギーをまともに食らったら、いくつもの星々が瞬時に吹き飛んでしまう事でしょう。

私達は、その事を防ぐために、そこから放出されるエネルギーを処理しなければなりません。」

私は、背筋が寒くなりました。

前回、地球の中心軸を修正した時も、そこから放出されたエネルギーで宇宙のさまざまな星々に大きな影響が出てしまったからです。

しかも、その時とは比べ物にならないほど巨大なエネルギーであるとしたら、この宇宙が大変な事になってしまいます。

マスター達が、バミューダ・トライアングルに入る時は、多くの種族を目覚めさせ、天の川銀河のマスターや騎士団達が皆で協力して行わなければならないといていた事は、このバミューダ・トライアングルに潜むエネ

ルギーがあまりにも巨大なので、そのエネルギーを分散させたり、あらかじめ浄化しておく必要があるための様です。

「マスターよ、よくわかりました。
では、私達はそれまでに、多くの種族を目覚めさせ、共に働いてくれる人達を仲間にすると同時に、地球のいくつもの次元や古代文明の神殿群を復活させ、光のポータルを作って、バミュータ・トライアングルのネガティブなエネルギーをどんどん光に変えるようにしておきましょう。」

「TAKESHIさんありがとうございます。
これからは、私達は、皆さんと共に働きますので、いつでも呼んでください」
私は、彼の事を「光の騎士」と呼ぶ事にしました。
彼はこの名前が気にいっただけで大喜びです。
私は、ゴッド・オブ・ソフィアに、他に私達を手伝ってくれる方はいませんかと聞きました。

PART7 悲しみにくれるゴッドス・オブ・ソフィア

ゴッド・オブ・ソフィアは、私にもう1人会わせたい人がいると伝えてきました。
そこに現れたのは、とても大きな悲しみでやつれてしまった1人の女神です。
彼女の眼は、泣きはらしたようにうるんでいます。

「あなたが TAKESHI さんですね。
あなたに会える日を、長い間待ち望んでいます

した。」

そういつて、涙を浮かべた目で私の事を見つめます。

「私は、自分の大切な子供達の1人が、自らの欲望に囚われてしまい、バミュダ・トライアングルに封印されてしまった事にとても大きなショックを受けてしまい、ずっとふさぎ込んでいました。

鳳凰族も光の鳳凰族が3人、闇の鳳凰族が3人いて初めてバランスが取れるのです。

しかし、闇の鳳凰族の1人が、私達の元を離れてしまったために、闇の鳳凰が2人となり、大きくバランスが崩れてしまいました。

そして、私も悲しみのあまり、自分の世界に閉じこもってしまったので、光と闇のバランスが崩れ、この宇宙を創造し維持する力がとても不安定なものとなってしまったのです。そのため、この宇宙の各所に大きなひずみが生まれてしまいました。

私達は、その歪みを直していかなければならないのですが、それもできずにおりました。あの子が、無事でいてくれたらと毎日願っています。

あの子が、1日でも早く私達のもとに戻ってきてくれたら、私達はどれだけ救われる事でしょう。

どうか、皆さんのお力で、闇に落ちた鳳凰のマスターを助けだしてください。

お願いします。」

女神はそのように言うと、再び泣き崩れてしまいました。

「女神よ、お気持ちを取り戻してください。私達は、必ず鳳凰族のマスターを救出できると信じております。

私は、あなたの気持ちが、必ず鳳凰のマスターに伝わると信じております。」

私は、自分のハートに手を当て、目を閉じます。

私のハートの中には、バミューダ・トライアングルの底で苦しんでいた鳳凰のマスターのスピリットの一部が、宿っています。

そのスピリットが、女神の言葉を聞いて涙を流している様子が心に映りますので、きっと女神の気持ちが彼にも伝わっている事でしょう。

私は女神の体を支えるようにしてささやきます。

「どうかあなたのお子さんを救うために私達に力を貸してください。

彼を救えるのは、あなたの愛をおいてほかにはありません。

私達に、あなたの光をゆだねてもらえませんか。」

女神は、顔をあげてうなずきます。

「もちろんです。

私はあなたが、彼を救ってくださると信じて、今まで閉じこもっていた世界から出てまいりました。

私も、ゴッドもあなたに、私達の光をゆだねますので、彼のもとまで運んでください。」

横でゴッド・オブ・ソフィアもうなずいています。

私達は、ハートとハートに光をつなぎました。光が、私のハートの奥深くまで入っていき、私の心の中に大きな安ど感が広がります。

その時女性の声がしました。

「TAKESHIさん、お待ちください。

ラピスの鳳凰の救出に私も連れて行ってく

ださい。」

その声がした方を振り向くと気高い雰囲気を持つ一人の女神が絶っていました。

「ヒール・オブ・ソフィア、あなたも一緒に行ってくださいるのですか。」

と光の騎士が言いました。

「もちろんです。

ラピスの鳳凰はきっと心も体も大きく傷ついていることでしょう。

それを癒せるのは、私しかいません。

私も、皆さんと同行したいと思います。」

ソフィア族の王様と女王様も喜んでいるようです。

「それでは、ヒール・オブ・ソフィア様、私達と共にラピスの鳳凰を助けに行きましょう。

どうかお願いします。」

と私が言うと、彼女はしっかりとしたまなざしで私達を見つめ頷きます。

第5章 海の神殿とバミューダ・トライアングル

PART 1 ドラゴン・トライアングルの神殿遺跡

私達は、新たな仕事に取り掛かります。それは、バミューダ・トライアングルの浄化とアトランティスの神殿の再建を行う前に、地球の隠された神殿をいくつか活性化する必要がありますという事をマスターから聞かされていまして、今日から地球の隠された神殿を復興していく事にしました。

私達が受け取ったメッセージによると、古代文明の神殿のほかに、氷河の神殿、クリスタルの神殿、オーロラの神殿があるそうです。そして日本の近海にあるドラゴン・トライアングルと呼ばれる場所の浄化も必要なようです。

私達は、最終的には、バミューダ・トライアングルを浄化しなければいけないのですが、まず日本のドラゴン・トライアングルを浄化する事で、バミューダ・トライアングルのエネルギーを正常化する事ができるのではないかとエレナさんに尋ねました。

「確かに、バミューダ・トライアングルと日本のドラゴン・トライアングルはつながっています。

ドラゴン・トライアングルにもバミューダ・トライアングルにも、海の神殿が存在しているのです。

その事を利用するののも一つの方法でしょう。」

私達はエレナさん達が持つ観測機械によって、海の底の神殿をピラミッドのようなビジョンとして見せられています。

「ドラゴン・トライアングルは、長い間、悩んでいた問題の一つです。

日本人達の苦しみや悲しみのエネルギーが蓄積して増幅され巨大なエネルギーを形成しています。

関東、千葉、小笠原、太平洋海域を結ぶトライアングル地区にもバミュダ・トライアングルと同じように、黒いクリスタルの塊が存在します。」

確かに、この地区は、太平洋戦争で多くの人達が犠牲になった場所ですので、その苦しみや悲しみのエネルギーが蓄積しているでしょう。

私達は、ネガティブなクリスタルが海域の奥に沈められているビジョンを見ています。

最近の事だけでなく、遠い昔から積み重ねられたネガティブなエネルギーが、この海域に流れ込んで大きな次元の歪みを作っているようです。

海底の一部に割れ目が見えたので、鳳凰族や魔法使い達にお願いして神聖幾何学を描いてもらいます。

そして、エンソフ様、太陽神ラメール、アメンラーの光をおろします。

すると、その次元の裂け目にある黒ずんだクリスタルが浮かびあがってくるように見えてきます。

そしてその中には封印されている存在が、誰かいるようです。

私達は、鳳凰族のマスター達や、高次のシェンロン達にも愛の光を送ってもらいます。愛の光が、ゆっくりと渦を巻くように、クリスタルを包み込みます。

海の底から、まるでクリスタルから解き放たれるようにマーピープル（海の種族）が現れました。

しかし、とても弱っていてお腹に黒いものがあるのが感じ取れます。

古代アトランティスの種族であり、マーピープルと関係が深い乙姫様を呼ぶと、救出された存在は、仲間の一人である事を教えてくれました。

「彼は海の神殿で、神殿相互の通信や地球と宇宙の通信を行っていた人で、様々な海の種族達の間を結ぶ仕事をしていました。

おそらく一緒に活動していた仲間達も近くにいるかもしれません。」

乙姫様は、仲間が見つかったことに対する喜びとこれほどまでに傷付いてしまったことに対する悲しみを味わっています。

メンバー達も癒しの光をマーピープルに送ります。

弱っている彼の体に、「神聖なる愛の女神の結晶」を入れてあげると、彼の体から美しい光がほとばしり出ます。

私は、シェンロン達にドラゴン・トライアングルに閉じ込められているマーピープル達の探索をお願いしました。

乙姫様に伺うと、かつてこの海域に海の神殿があったのですが、現在はなくなっているようです。

海の神殿を探すと、やはり廃墟になった神殿跡だけが見つかりました。

調べてみると、やはり特殊な神殿の様ですが、神殿の中にあるシステムや情報はかなり古びているようです。

私は、鳳凰族の光のエネルギーをここに降ろすとバード族、マスターA、コロボックル達を呼び、海の神殿の再生をお願いしました。彼らは、マーピープルや乙姫様としばらく話をした後、光の騎士団やクリスタルの騎士団とともに海の神殿の再建に入りました。やがて海の中に、少しモダンなオフィスみたいな神殿ができあがりしました。

私達は、この海の神殿を守るために、以前私達の前に姿を現した海のマスターを呼び出します。

海のマスターが、私達の前に現れ、メッセージを伝えてきます。

「私達は、海を愛しています。

乙姫族やマーピープル、そして多くの海に生きる生命達と共に生きてきました。

昔から人類は、海を見て、自分達の苦しかった事や辛かった事などをいつも癒してきました。

そして人類は、この豊かな海から得られる魚や海藻を大切な生活の糧としてきました。

海は人類にとって癒しや憩いの場であると共に、大切な生命を支えるための場所でもあったのです。

しかし、最近の海は人類によって汚されてきました。

海は宇宙とつながる大切な場所であり、皆さんだけでなく地球に生きる生命達を生み出す場所でもあるのです。

「海の良き思い」も、皆さん達で分かち合っ
てほしいのです。

海の大切な息吹や海の命をもっと大切にし
て、守ってほしいのです。

海の神殿は、そのような「海の思い」を大切
に守る場所なのです。

地球の意志である地球のコアと海の神殿は、
共につながりあって機能しているのです。

海と地球のコアはとても深い関係でつなが
り、この地球に生きる多くの生命を支えてい
るのです。」

私は、メンバーの1人に頼んで、地球のコア
にあるダイヤモンド・コアに行ってもらい、
地球のコアのエネルギーと海の神殿のエネ
ルギーをつないでもらいます。

海の神殿のマスターの仲間で、ドラゴン・ト
ライアングルに閉じ込められた仲間達が、シ
ェンロン達に助け出されて戻ってきたよう
です。

ソフィア族の癒しの女神から、癒しの光を彼
らに送ってもらい、私は愛の結晶を入れてい
きます。

助け出された仲間達も少しずつ元気になっ
てきましたので、私達はフェニックス号に移
動して治療を続ける事にしました。

私は、ここで一つの決心をして、森羅族、乙
姫族をはじめ、海の種族を集めてもらいます。

私達は、バミュダ・トライアングルにある
海の神殿を復興すると共に、海の神殿の仲間
達を助けに行くのです。

PART2 バミューダ・トライアングルの海の神殿

私達は、バミューダ・トライアングルにも海の神殿を設置するために、ドラゴン・トライアングルに作った海の神殿をコピーしてバミューダ・トライアングルに持って行く事にしました。

宇宙の魔法使いに頼んで、海の神殿をコピーして、さらにフェニックス号に乗るように縮小していきます。

フェニックス号は、海の神殿を積んでバミューダ・トライアングルに向います。

バミューダ・トライアングルに潜むネガティブな存在に関しては、愛の光を送り続けたことでそれ程大きいものとは感じません。

私達はまず、バミューダ・トライアングルに入ると、フェニックス号で海底にもぐり、海の神殿の遺跡や海の神殿のマスター達の生命反応を探します。

闇の大天使サマエル、黒のエルフと闇の鳳凰族であるオニキスの鳳凰、ハマタイトの鳳凰にもサポートしてもらいます。

彼らはもともと闇の中で活躍するメンバー達ですので、この程度の闇のエネルギーの中でも十分活動していけるでしょう。

私達は、海の神殿の廃墟のようなものを探し出しましたが、もうすでに土台から壊れているような状態です。

その中心にも黒いエネルギーで固められたようなクリスタルがありますので、フェニックス号に引き上げると共に、新しいクリスタルを準備します。

私達は、ドラゴン・トライアングルで作った海の神殿をこの場所に設置し、クリスタルを備えます。

こちらのクリスタルもメンバーに頼んで、地球のコアとつないでもらいます。

もちろんドラゴン・トライアングルの海の神殿のクリスタルや鳳凰族の世界ともつながります。

そして海の神殿を、バミューダ・トライアングルのネガティブなエネルギーの影響を受けずに、光を発し続ける事ができるように、大天使サマエルや鳳凰のマスター達にお願いして、特別な光のシールドで包みます。

この神殿を起点にしてバミューダ・トライアングルに光を送りつづる事で、私達は、この場所を光に変えていこうと考えているのです。

バミューダ・トライアングルに閉じ込められた人達も救出してフェニックス号に収容しました。

設置されたばかりの海の神殿は、鳳凰達の光を受けて、薄暗い海の中でも、高貴な光の柱を保ち続け輝いています。

そして、この海の神殿から発せられた光で、周りの闇のエネルギーが浄化されていくのをしばらく待つ事にしました。

PART3 バミューダ・トライアングルに残るアシュタール

私は、クリスタルの騎士に、この近くにネガティブな存在がないか、探してもらいます。クリスタルの騎士がすぐに数名のグループをみつけました。

岩陰に隠れるようにして、身を寄せ合って震えている存在ですが、どうやら第2アシュタールのメンバーのようです。

アシュタールのエレナに来てもらい、第2アシュタールのメンバー達をできる限り探し出してフェニックス号に連れて行きます。

今まで、この海の底で暮らしていたのでしょうか、生命力も弱り、意識も朦朧としているようです。

もちろん、首の後ろにはいつもの遺伝子チップがありますので、それを抜き去り、癒しのエネルギーを送ってあげると、とても気持ちよさそうにしています。

第2アシュタールのメンバー達は、バミューダ海域に入った事やこの場所に閉じ込められているラピスの鳳凰と会った事は覚えていますが、後の事は覚えていないようでした。

私は彼らに何が起こったのかを尋ねました。「私達アシュタールは、もともと正義感が強い種族でした。

私達は、地球の人類にレプテリアンやドラゴンアーマーを差し向けました。

それは、地球人が試練をのりこえる事で、より早く進化すると思っていたからです。

最初は、レプテリアンやデビル・アーマーは、完全に私達がコントロールしていたと思っていました。

しかし、やがて状況が変わってきました。レプテリアンやデビル・アーマー達は、私達の静止を聞かずに、自分達の判断で自由に動き始めたのです。

私達は当惑しました。

私達が考えもしない事が次々と起こっていたからです。

そのために、私達は、レプテリアン達を再度コントロールできるような大きな力を求めて、このバミュダ・トライアングルに入り込んでしまったのです。

私達は、噂で闇の鳳凰族の1人がここに封印されている事を知りました。

そして鳳凰族の力を借りる事で、彼らを再びコントロールする事ができるようになると思っていたのです。

しかし、鳳凰と会ったあたりから、私達はどうも自分の意識や記憶がはっきりしないのです。」

「アシュタールのマスターよ、さぞお辛かった事でしょうね。

皆さんに遺伝子チップが入れられたことで、あなたは自分の意識を失い、ラピスの鳳凰やこのバミュダ・トライアングルのネガティブなエネルギーと深く関わってきました。皆さんは自分達の意識を失って、操られていたのです」

私達は、アシュタールを保護するとすぐにバミュダ・トライアングルを抜けて創造主の神殿に戻っていきます。

第6章 ムー文明の神殿の復興

PART 1 古代のハワイ海域に栄えたムー文明

2015年の6月15日、私達が、創造主の神殿に行くと、私達を待っていてくれたのは、私達の活動を大きく飛躍させる事となる黄金の騎士団でした。

彼らは鳳凰族の直属の騎士団として私達の活動をサポートしてくれます。

彼らは、鳳凰の様な翼を持つペガサスの上に乗って勇壮な姿で現れてくれました。

闇の存在の逮捕に対して大きなサポートをおこなえるように光の騎士と鳳凰族によって作られた騎士団で、これから出来上がる「天の川銀河の12神殿」の守護も務めるようです。

さてこの日の星のツアーも記念すべきものとなりました。

私達は、かねてより訪ねたかったムー文明へと時間をさかのぼって訪ねる事にしました。私達は、宇宙船フェニックス号で時間をさかのぼり、古代ムーの時代を訪ねます。

そして、レムリアの神殿を移動させたように、ムーの神殿を現代に甦らせるために、宇宙船でムーの神殿を現代へ移動させる事にしました。

フェニックス号はもちろん、ユニバーサル・パレスに属する巨大宇宙船にも手伝ってもらおう事にしました。

私達のフェニックス号と仲間の宇宙船は、現在のハワイ島の近くを飛行していきます。今では、このあたりはハワイ諸島をのぞいて海なのですが、古代はムー大陸が大きく広がっていたのです。

私達は、大陸の一部に着陸し、ムー文明のマスター達を呼び出します。

1人の女性マスターが、私達が来る事を待ち望んでいたように現れてきました。

彼女は、私達ににこやかにあいさつすると、私とムーの時代にお会いした事があると伝えてきました。

という事は、私自身もこのムーの時代に生きているのかもしれませんが。

「皆さん、よくいらっしやいました。皆さんが来る事を私達は、心からお待ちしておりました。

ムーの文明は、地球と宇宙を光でつなぎ、大いなる調和のもとに、愛と喜び、幸福と叡智を紡いできました。

それがムーの素晴らしい宝物なのです。ここに生きる多くの種族達が、素晴らしい一体感をもって生きていく事が、私達の喜びなのです。」

私も彼女に挨拶をすると、ムー文明のやわらかくて心地よいエネルギーを受け取っていきます。

周りを見渡すと、ムーの神殿群が不思議な配置で並んでいる様子を目にします。

「ここの神殿の配置は、とても不思議な特徴を持っています。

それは、神殿を無限のエネルギーを表す8の字型に並べ、なおかつすべての神殿のエネル

ギーをつなぎ合わせる事で、特殊なエネルギーの循環を作り出しています。

そして神殿群の中央に特殊な装置を配置する事で、このエネルギーを地球の神殿のみならず、宇宙の神殿へと送り込む事ができるようになっています。

そうする事で、私達のムー文明の特徴でもある宇宙意識との統合を果たし、地球の波動を高める事ができるのです。」

私達は石造りの神殿を見ながら、レムリアの神殿を思い浮かべます。

「皆さんの神殿は、レムリアの神殿と関係が深いものですか。」

「もちろんです、私達の神殿もレムリアの神殿も、共にこの地球の安定と発展を望んで作られたものですから、同じ目的で作られたといってもよいでしょう。

そしてアトランティスも、最初の頃は、私達と同じように地球と宇宙のために活動していましたので仲良く交流していたのです。」

まだ乙姫族が活躍していたアトランティス文明の初期は、アトランティスもレムリアもそしてムーも、それぞれの文明がこの地球を安定させるために、協力し合いながら活動していたようです。

しかし次第にアトランティスやレムリアの一部の人達が本来あるべき目的を離れて行動したために、多くの争いが起こるようになりました。

ムーの人達は、アトランティスの争いに関わらないように交渉を絶っていたようです。彼らは、ムー独自の叡智を守ろうとしたのですが、やはりアトランティス崩壊の影響で、

地球全体の波動がおかしくなった為にムー文明も崩壊し、海の底に沈んだようです。ムー文明の中心となっていた聖なる山の頭頂部のみが、現在のハワイ諸島として残った事を、私達は知らされました。

各宇宙船の船長とムー文明の技術者が神殿の移動と配置について会議を始めたようです。

私達はその時間を利用して、ムー文明の神殿を案内してもらう事にしました。

PART2 ムー文明の神聖な愛の光

私達が、ムーの神殿に降り立つとさまざまな種族の人達が集まってきました。

マーメイドの様な人達、あるいはさまざまな動物の一部を持つ人達もいます。

私は、マスターにムーの種族の事を聞きます。

「このムーでは、様々な文明や世界から神聖な叡智を教える人達が来てくれました。

そして、その叡智を学ぶために様々な種族の人達が集まっています。

主に、宇宙の真理と叡智の宝庫であるクリスタル族によってその学びは行われています。宇宙の創造に関わるバード族、彼らは鳥の形をした顔や翼を持っていますが、彼らも私達の大切な先生です。

皆さんがよくご存じのように、バード族はムー文明を後にしてエジプトや中南米にわたり独自の文化を発展させる事になりました。

アトランティスからはマーメイドやマーピープルがその叡智を学びに来ています。

レムリアやそのほかの世界からも、様々な種

族が来ていますので、まるで動物と人間が一つに融合された種族の姿のように、皆さんには見える事でしょう。

しかしムー文明の独自の種族は、皆さんと同じような人類ですのでご安心ください。」

マスターはにこやかに笑いながら話をしてくれます。

その間にも、周りで私達を見ている種族達の好奇心にみちた波動を感じています。

「皆さんの中にも、かつてムー文明に生きておられた方達がたくさんいらっしゃるようですね。

素晴らしい事に、そのような人達のスピリットは、ムーの神聖な叡智を受け取り、その魂の中に今でも保存しています。

皆さんが、ムーの神殿に触れる事で、その叡智が甦り、皆さんの素晴らしい能力がきっと目覚めてきます。

このムーには、レムリアやアトランティスなどにも共通する素晴らしい叡智がたくさん保存してありますので、それらを活性化することで、この地球はさらなるワンネスの世界へと導かれていく事でしょう。」

私達は自分達のハートの中にあふれるように流れ込んでくる愛のエネルギーを感じています。

メンバーのハートからも光がどんどん輝いていく様子が見られます。

マスターは、メンバーのハートから光が広がっていく様子を見るととてもうれしそうに話します。

「皆さんのハートの中に、神聖なる愛が目覚めていく様子がお分かりになりますか。

皆さんが持っている愛のエネルギーはとても深いものです。

このムーのエネルギーに触れる事で、皆さんはさらに素晴らしい愛にめざめる事でしょう。」

PART3 石組みの方法によって宇宙の星々とつながる神殿

私達は歩きながらムーの神殿を見て回っています。

石を積み上げた神殿は8の字状に配置されるように設置されています。

神殿そのものは、レムリアの神殿にも似ていますが、さらにシンプルに作られているようです。

私が、ハワイ旅行に行った時、各地でヘイアウと呼ばれる古い神殿遺跡を見て回りましたが、ムーの神殿の造りは、ハワイのヘイアウにも受け継がれているようです。

しかし、ムーの神殿はシンプルな石造りの神殿ですが、この神殿を作るためには、石を加工して特殊な形に組みあわせる技術や石を運搬して積み上げる技術が必要とされています。

マスターは、この神殿を作り上げるには、バード族の力が使われている事を教えてくださいました。

私達が興味深々で見ている様子を察して、マスターがそのやり方を見せてくれる事になりました。

私達の前に、特殊なエネルギーを持った4人組が現れ、大きな石の4方向に立ちます。

決して石に触っているわけではないのですが、手からレーザー光線の様な光を出して、石を削ったり磨いたりしています。

そして磨かれた石を4人の手から出ている光を使って、まるで光で持ち上げるようにして移動させていきます。

この光は、石の原子構造に働きかけ、石を切断したり、質量を軽くする事を行っているようです。

「皆さんが、ご覧になられたように、私達の神殿は巨大な石をきれいに削り取って精密に組み合わされています。

石の積み方や数、配置によって各神殿のエネルギーの状態がまったく変わってきます。

すると、その神殿が生み出すエネルギーや引き寄せてくるエネルギーも異なってきます。

そのエネルギーの組みあわせによって、4大エレメントやさまざまな特質を持つ神殿達のエネルギーを作り上げているのです。

私達は、星の配置や並び、距離なども正確に計算して、神殿をどの星つなぐか、どのようにエネルギーを作るのかを計算して、神殿を形作る石を配置しています。」

私は今年初頭に行ったマチュピチュの高度に洗練された石造りの神殿を思い出しました。

本当に人が入っていけないような険しい山の頂に、創造を絶するほどの巨石達によって組まれた神殿を見るならば、まさに今行われたような方法を使って作る以外にはないだろうなと思います。

そして、星の配置を計算して生まれたマヤ暦の原点はここにあるのだと確信しました。

ムーの神殿の特徴は、星の配置と神殿のつく

り方によって、太陽系の星々や天の川銀河のさまざまな星とつながっている神殿がある事です。

月の神殿や太陽の神殿は、直接神殿の中に光が差し込んできています。

他の太陽系の星や天の川銀河の星々はエネルギーがレーザー光線のようにつながり、各神殿がそれぞれの色に輝いて見えます。

中央の神殿では、各星の配置を調べ、それらの星から、各神殿に光がきちんと届いているかを観測しています。

もし石の配置が少しでも狂うと、定められた星からの光がうけ取れなくなり、神殿が機能しなくなります。

まるで星々の観測を行う天文台の様な働きをします。

ムーの神殿は、高度な計算によって石の配置が決められ、エネルギーの調整が行われているので、各神殿に神官がいなくても機能するようになっています。

神官は中心の神殿で、観測を行い、星の位置や神殿の石の配置を見守り、問題があれば修正します。

PART5 ムーの癒しの神殿

私達は、ムーのマスターにムーの神殿の中には、癒しを行う神殿がないか尋ねます。

「もちろん、ムーの中にも癒しを行う神殿は存在します。

ここから、少し高いところに見えるのが、癒しの神殿です。

それでは皆さんをご案内いたしましょう。」
宇宙の光のメンバーから歓声が上がります。

私達が歩いていくと、この場所だけレムリアの神殿のように美しい植物や噴水のようなものが見えてきます。

「私達の癒しの神殿は、癒しのエネルギーを宇宙からすべて集めて、中央にある泉の中にエネルギーを凝縮して作られています。泉の中には、透き通ったクリスタルが置かれ、皆さんの心と体を癒してくれますよ。そしてクリスタルと星のエネルギーを利用して、皆さんのネガティブな感情やエネルギーを浄化していくのです。」

私達は、神殿の中央にある泉に入ります。自分の体がマーメイドのようになった感触を持つ人もいましたし、体を巡る光と共に、痛みやしびれが走っていく事を感じる人もいました。

人によっては、目の奥がズキズキする感覚とともに、星が崩壊したビジョンが見えてきた人もいます。

そのような人には特別な癒しが必要なようです。

神殿の奥に特別ルームがあり、彼女が招き寄せられます。

その部屋は、サウナのように暖かく岩塩が敷き詰められています。

神官達は、その人を岩塩の上に寝せると、岩塩を細かくだいた塩をたくさんふりかけ、体を塩漬けにしていきます。

そして、癒しの神官達から全身マッサージというか、塩もみを受けている光景に、全員大笑いです。

その時、智美さんが一人だけ美味しそうなジュースを飲んでいる事に気づきました。

智美さんは、神殿の中を歩いている時に、神

官の方からこれを飲みなさいといって手渡されたそうです。

ところが、このジュースを飲むと、すごい浄化力とパワーに満ちていて、智美さんの口から火が噴きだされています。

その様子にメンバー達も大笑いです。

これは、ドラゴン・ドリンクと呼ばれている物で、4大元素やハーブなどが配合されているドリンクの様です。

神官にお願いすると、一人一人に適した配合でジュースを作ってくれました。

しばらくすると、皆さんの体に遠足の時に持っていくような水筒がぶら下がっています。

PART6 太陽の神殿

私達が、癒しの神殿を後にすると、メンバーの誰かが「太陽神のピラミッド」の話をしています。

私達は、この神殿群の中でも、他の神殿よりも大きく緻密に作られた太陽のピラミッドに向います。

以前メキシコで見た、テオティワカンの太陽の神殿にそっくりです。

神殿の入り口には、エジプト文明の絵に描かれているような門番が二人、杖をもって立っています。

ピラミッドの中に入るとひんやりとした冷たい空気が漂っています。

ピラミッドの中央に広い部屋があり、そこにクフ王のピラミッドのように重厚な石棺が置いてあります。

私達が、見ていると石棺の数が増え、私達の人数分の石棺が現れてきました。

私達は一人一人その石棺の中に入り瞑想します。

皮膚が熱くなり、ちりちりとした感じでした。私達を大きなエネルギー包み込むと、次の瞬間には、私達は穏やかな草原の中に立っています。

そこに「太陽神ラ・ムー」が光輝く姿で現れました。

エジプトの王様の壁画のように、蛇の象徴を頭に抱いた立派な姿です。

「皆さん、よくここまで来てくれました。私は、太陽神ラ・ムーです。

ここは、ムーを指導するための別次元に当たります。」

私達は、太陽神ラ・ムーの後ろに、赤く輝くマスターがいる事に気付きました。

私達が、愛の源の世界でお会いしている太陽神アメンラー様のエネルギーを受け継いだ人の様です。

どうやら、彼らはムーの文明の再興を夢見ている様子です。

「皆さんが、このムーの世界に来ていただいた事を心から嬉しく思っています。

私達も、ムーの守護者として、皆さんと一緒に、新しい世界へ行きたいのですが、どうか私達も一緒に連れて行ってください。」

そのマスターは真剣な目で私達に頼んできます。

「私達は、新しいムーでも、今までのムーと同じような働きをしたいと思います。

ムーだけでなく他の文明の神殿が復興する事で、地球の神殿達がこのムーの神殿と一つになり、すべてが調和に満ちた世界ができていくのです。

これから皆さんが、12神殿を作るに当たり、この地球の各地の神殿を目覚めさせていく事が大切です。

レムリア、アガルタ、ムー、アトランティスの主要な神殿はもちろん、氷河の神殿、クリスタルの神殿、オーロラの神殿、虹の神殿など、地球には、まだたくさんの神殿と種族がいます。」

そこにムーの守護者となる大きなシェンロンが現れました。

シェンロンも、ムーの主な種族である人間、バード族、マーピープル、クリスタル族達を守護して共に旅立つようです。

私達は、太陽のピラミッドも忘れずに未来に持っていく事を約束すると、太陽神ラ・ムーも安心顔です。

PART7 クリスタルのお風呂がある神殿

最後に私達は、ムーのクリスタルの神殿に行く事にしました。

神殿の前には大きなクリスタルの原石がたくさん並べておいてあります。

神殿の中にも、色とりどりのクリスタルが特殊な配置で置かれているようです。

この神殿には、癒しの力を増したり、叡智を身につける能力を開くためのシステムがあるようです。

1人のマスターは、クリスタルでできた帽子をかぶっていますが、その帽子には、いくつものアンテナが付いていて、この大陸の情報を隅々まで把握できるようになっています。この帽子に直結したシステムによって、他の星の人達が、ムーにはいつてきた事を知る事

ができます。

クリスタルの神殿のマスターが出てきてくれました。

長身で透き通った美しい肌をしたクリスタル族のマスターの様です。

「皆さん、クリスタルの神殿によろこそいらっしやいました。

クリスタルは一つ一つ異なる意味や目的を持っていますので、それに触る事によって、その人の能力やパワーを目覚めさせる事ができます。

皆さんは、すでにクリスタルと深い関係を持っていらっしやる人ばかりなので、もうお分かりとおもいますが、ここにあるクリスタルは、このピラミッドの力で大変活性化されており、素晴らしいパワーに満ちております。」

マスターは私達にそういうと、さらに神殿の奥へと案内してくれました。

クリスタルによって神聖幾何学が幾重にも描かれた部屋の中には、クリスタルの湯船がいくつああって、湯船ごとに異なるバラの花びらが浮かべられています。

クリスタルの湯船の中で、バラの香りが心地よく香ります。

私達が、神聖幾何学のパワーに満ちあふれた湯船に入る事で、チャクラ・バランスが整うようです。

私達が、クリスタルの湯船につかってリラックスしていると、先ほどのマスターが、私達を呼びに来ました。

「それでは、皆さんこちらにどうぞ。

次は、チャクラ・バランスを整えるための部屋に入ってください。」

私達は、その部屋に入り座ります。

すると数名のヒーラー達が現れて、様々な色のクリスタルを使用して、私達のチャクラ・バランスを整えていきます。

まずは登頂から、透明な水晶を使って光を入れていきます。

クラウンチャクラを通して各チャクラにエネルギーが走ります。

そして各チャクラに、様々な色のクリスタルを使用してさらに光を入れていきます。

そうする事で、自分に足りないエネルギーを強化する事ができるのです。

PART8 ムー神殿、ハワイの別次元に復興される

私達がクリスタルの神殿でくつろいでいると、フェニックス号の船長から、準備が完了した事を伝える連絡が入りました。

私達は、急いでフェニックス号に戻ります。これからムーの神殿の移動が始まります。

今回は、神殿群をそのまま時間を超えて現代まで持っていくようです。

それぞれの宇宙船が、神殿を縮小するビームを出して宇宙船の中に収納していきます。

もちろん太陽のピラミッドも忘れずに船の中に収容すると、太陽神が安心した顔をして現れてきます。

神官や神殿で働いている人々やその家族は、フェニックス号にそのまま乗ってもらいます。

準備ができました。

数隻の宇宙船が、フェニックス号の後を追い、次元と時間を超えていきます。

宇宙船の中で杖を持ったムーの長老と話を

します。

「皆さん、今日はありがとうございました。これから私達は、未来の地球に行き、神殿を新たに作り直す事にしました。

皆さんのおかげで、このムーが再興できて、私達は心から喜んでおります。

ムーの秘密は、この宇宙の摂理と愛を重んじる文明です。

愛がある事によって、私達は自分本来の力を発揮する事ができるのです。

皆さんがすごいな、と思われるような事があったかもしれませんが、私達はそれを自然と行っています。

皆さんが、12 神殿の復興を目指して行っている事も、皆さんの中にある愛を育てていく事にほかならないのです。」

私達は、現代のハワイの上空に降り立ちました。

そしてあらかじめ準備してあった次元に、神殿を降ろしていきます。

そしてムーの人達も、そこに降ろす事にしました。

新しいムーの世界は、緑の芝生を彩るように美しい花達も咲いています。

近くには、波が押し寄せる美しい砂浜と海もあります。

まるでハワイの様な気候で、ムーの人達がとても喜んでいきます。

それぞれの宇宙船から、神殿の定められた配置に従って神殿が降ろされていきます。

ムーの人達は、地上で神殿の位置を決め、宇宙船に合図を送りながら神殿の微調整を行っています。

素晴らしいチームワークです。

私達は、地上にすべての神殿が降り立つと、

ムーの人々を集めて祈ります。

このムーの新たな神殿が、素晴らしい光となるために、鳳凰族とソフィア族の光を、このムーの世界に降ろしていきます。

これで、私達は、レムリア、アガルタに続いてムー文明の神殿を再建する事に成功しました。

アトランティスの神殿が残っているのですが、この神殿は、ほかの神殿を覚醒させた後に、バミュータ・トライアングルの浄化を伴って行われていく事でしょう。

私達はメインの神殿の他にも残っているサブの神殿の復興に入る事にしました。

PART7 地球に眠る神殿達の 目覚めと新種族

PART 1 地球の空気を浄化する氷河の神殿の復活

私達は、地球に残るいくつかの神殿の復興を行う事となりました。

先日は海の神殿をおこなったのですが、今日は「氷河の神殿」に行く事にしました。

私達は、氷河の神殿のマスターを呼び出し、案内をお願いします。

私達は、フェニックス号に乗り、時間をかなり遡って地球の氷河期に戻りました。

私達がたどりついた時代は、もうすでに氷河の神殿に異常が出始めた時期の様です。

氷河の上に、白い神殿があるのですが、そのエネルギーが非常に暗く感じます。

私達が、氷河の神殿に降り立つと、白く輝く氷の女神様がいらっしゃいました。

「皆さんの事をとてもお待ちしております。

この時代には、もうすでにネガティブなエネルギーが地球を覆いつつあります。

そのために、この地球を浄化し保護していた厚い氷が解けて、この地球がそれらのエネルギーに直接さらされる事となりました。

私も、この地球のエネルギーの状態と同調していますので、とても胸が苦しく感じられます。

私達は、海の神殿とも協力して、地球の海の保護をしてきました。

私達が活躍していた時代は、海の神殿もまだ無事に活動しており、イルカや鯨達と共に楽しく生活をしておりました。

地上には、人間達がいなかった時代だったので、私達は愛と光で包まれていました。

しかしながら、地球がさまざまなエネルギーに触れるにつれて、地表が温められ、氷も薄くなり、私達が生きづらい時代になってきました。

私達は、この地球のエネルギーを正常に戻し、当時の満たされた愛の世界を再び送りたいと思っています。」

私達は、氷河の神殿の女神の真剣なメッセージを聞いています。

確かに、現在は、氷河期とは異なりますが、南極や北極の氷が解けて、地球の自然環境に大きな影響がある事も理解できます。

氷河の女神と共にいたマスターが氷河の神殿の役割について説明してくれました。

「氷河の神殿は、皆さんには不要なもの様に思えるかもしれませんが、地球のコアのエネルギーを冷却する事で地球の温度やエネルギーを正常に保つ働きをしているのです。

そして氷河のエネルギーによって地球の空気も浄化していく事ができます。

この氷河の神殿がなければ、地球上が砂漠のようになってしまい、植物はもちろん動物達も住む事ができなくなります。

この氷河の神殿は、地球を守るためにはなくてはならない存在ですので、どうかこの神殿を復興させてください。」

私達は、氷河の神殿と氷の女神達、そこで活躍するシベリアンハスキー犬や白熊達も一

緒にフェニックス号で現代に運びます。
そして南極大陸のあたりに、氷河の神殿を設置します。
私達は、この神殿をレムリアなどの水の神殿とつないでいきます。
これで、海の神殿に続き氷河の神殿が復興されていきました。

PART2 オーロラの神殿の復活

私達は、フェニックス号に乗って、次の目的地であるオーロラの神殿に行く事になりました。
黄金の騎士団に、前もってオーロラの神殿を探してもらったために、私達は無事に着く事ができました。

確かにオーロラの神殿がありました。が、神殿は古びていて、あまり機能していないようです。
現代のオーロラの神殿の機能は非常に弱っている。ので、2万年前のもっとも輝いていた時代に戻って、その時の神殿のエネルギーを復興させた方が良いでしょう。

私達は、フェニックス号で時代をさかのぼっていきます。
いくつもの光の帯が後ろに流れ去り、振動で体が揺れていきます。
私達は2万年前の地球にたどり着きました。

私達がたどりついた場所はとても寒く氷と雪に閉ざされたような世界です。
遠くに澄み渡ったオーロラが空に揺らめいている様子が見えます。
そして、その下に虹色に輝く美しい神殿が蜃

気楼のように佇んでいます。

私達が、オーロラの神殿に入ると白く透き通った肌を持つ精霊の達が私達を迎えてくれました。

奥から神殿のマスターが、私達を待ちかねていたかのように慌てて出てきます。

オーロラのマスターが、私達に丁寧なあいさつをすると語り始めます。

「私達オーロラの神殿は、氷河の神殿、雪の神殿と協力して地球の環境を整えております。

そして地球の磁場をより高次でバランスが取れたものとすると共に地球以外の星々や宇宙とのより良い関係を保つ役目を持っています。」

私達が来た時代は、およそ2万年前の地球ですが、澄み渡った大気は透明感が増していて、空から反射した光によって虹色に輝いています。

とても美しい空です。

「オーロラの神殿は、やがて破壊される事が、予言でわかっていたので、皆さんが助けてくださる事に感謝いたします。

オーロラの神殿は、地球と地球の磁場を整え、地球の空気を浄化する力があります。

この時代は、地球はまだ美しく磁場もそれほど乱れていないので、私達の活動は非常に効果的です。

しかし、皆さんの時代においては、地球の環境は著しく汚染されていますし、磁場の悪化も予想されていますので、どれだけの働きができるか不安です。」

オーロラの神殿のマスターは、私達を見なが

ら言いにくそうに言います。

「私達は、皆さんの日常生活の電磁波を良い波動を変えていく力がありますが、現在のオーロラの神殿は、20名ほどしかおらず、皆さんの時代で活躍するには人数が不足しています。」

要するに新しい種族を作ってくれというお願いの様です。

私はマスターに向ってうなずくと、マスター達は大喜びです。

私達は、オーロラの神殿の現代へと移し替える移動の準備にかかります。

フェニックス号から、特殊なビームをオーロラの神殿にむけて発射し、オーロラの神殿を小さくしてフェニックス号に乗せます。

フェニックス号に乗って移動している間、オーロラの神殿のマスターと話をしました。この時代、ムーやアトランティスはもうありませんでした。

人類はリセットされていて少数しかおらず、動物達が活躍している時代、文明のはざまに当たる時代のようなようです。

オーロラの神殿のマスター達が語ります。

「私達は、他の神殿の皆さんやクリスタル族と深く繋がり、お互いの役目を果たしてきました。

そして地球と宇宙のエネルギーのバランスをとりながら、地球をより美しい物に変えていく働きをしていたのです。

最初の頃、神殿は正常に働いていましたが、ある時期から、突然ネガティブなエネルギーにより時空がずれて、力が弱まってしまいました。

この地球に新しい人類が生まれ、電磁波やネガティブなエネルギーが沢山放出されたため、神殿のマスター達の生命力が弱くなってしまいました。

このままだと神殿の力は十分に発揮出来ず、地球も電磁波などに汚染されていく恐れが出てきたのですが、私達だけの力では、どうすることもできず耐え忍んできました。」

私はオーロラの神殿と神官達を、現在の地球の北欧の辺りの別次元に移動させます。

フェニックス号は目的地の上空に到着し、神殿を降ろす作業にかかります。

神殿が、しっかりと設置されると、オーロラの神殿のマスターが願っていた新しい種族を生まだします。

オーロラの種族を増やすため、様々な物理的な工学に詳しいバード族の一つである鳳凰族と電磁波から地球を守る電子工学に優れたコロボックル、そして創造主の鳳凰族を呼び協力を求めます。

私達は、創造主にお願いして、ここに種族誕生の光を送ってもらいます。

やがて大きな光のドームが作られ、美しい光の中からオーロラの妖精の姿が生まれました。

更に数を増やすため、オーロラの妖精の女性型と男性型も創られていきます。

オーロラの神殿のマスター達は大喜びで、歓声を上げています。

これでオーロラの神殿も活性化していく事でしょう。

私達は、次に雪の神殿に向う事にしました。

PART3 地球の環境を守る雪の神殿の再生

私達は、オーロラの神殿を移動した同じ時期の雪の神殿に向います。

フェニックス号が2万年前の雪の神殿へ到着しました。

私達は、純白に輝く雪の中を神殿にむけて急ぎます。

雪の神殿は、静寂の中にたたずむ気品と優雅さがある神殿です。

出迎えてくれた雪の女王に挨拶をします。

「私達はあなた方を2万年後の世界に来て頂き、地球の12神殿の復興に役立って頂きたいのですが、いかがでしょうか？」

雪の神殿の女王が嬉しそうに答えます。

「先程、私の姉であるオーロラの女神からメッセージが送られてきました。

私達も是非、協力させて頂きたいと思います。雪の神殿とオーロラの神殿はお互いにバランスを保つ事により、よりよい働きをいたします」

雪の神殿を運ぶため、神殿を光で包み小さくして、フェニックス号に収容され、現在に運びます。

雪の女王は言います。

「あなた方の時代では、地球上は大気汚染や気温の変化が年々加速しとても心配しております。

私達はなるべく地球の環境がこれ以上悪化しないよう、地球の温暖化を守る事が私達の働きです。

私達雪の種族は、北極グマを含めて現在10人しかおりません。

神殿が出来て直ぐ、私達と北極グマは一緒に

宇宙からのエネルギーで誕生しました。
雪の神殿の目的は地球の温暖化を妨げ、空気、
大地の浄化を行い、季節が乱れないように維持する働きをします。」

私は雪の神殿をロシアに降ろすようフェニックス号の船長に指示を出し、雪の新種族を創るため、自然環境を守る女神エオリア、雪の女神、大天使ハニエルとチャミエルを呼びお願いします。

大きな光のドームの中から、可愛い赤ちゃんの様な雪の新種族が次々と生まれてきました。

PART4 氷河の神殿の新種族

さらに、私達は、雪の神殿とオーロラの神殿の新種族を生み出したものの、氷河の神殿の新種族を創っていなかった事に気づき、氷河の女神を呼び、どのような種族を望んでいるか聞きます。

氷河の神殿の女王が嬉しそうにやってきました。

「私達は寒い所に住んでおりますので強力でパワフルな種族にして頂きたいです。普通の宇宙よりも厳しい状態のなかで暮らさなければいけませんので、よろしく願いいたします」

私達は氷河族の新種族を創るため、太陽の巫女である日巫女族、氷河の女神、とてもパワフルな四大エレメント・ドラゴンを呼びだします。

創造主であるソフィア族の光を満たす中、日巫女が呪文の様なものを唱え頭上に手を上

げると、四大エレメントのドラゴンがその上をまわりパワーを送っています。

火や水などの四つのエネルギーの中から、氷河の女神に似た、羽が生えた虹色に輝く新しい種族が何人も生まれました。

4大エレメントのパワーを使いこなす事ができるパワフルな氷河族が生まれてきました。

PART5 クリスタルの神殿のクリスタル・エンジェル

私は、地球環境を守る3つの神殿を復興し新種族を作り上げた後、愛菜さんとの個人アチューメントで復興させたクリスタルの神殿の新種族を創るため、フェニックス号でクリスタルの神殿に向かいます。

私達がクリスタルの神殿に着くとクリスタルのマスター達が喜んで迎えてくれます。クリスタルのマスターが嬉しそうに話します。

「昨日はどうも有り難うございました。お陰でクリスタルも凄く輝きを取り戻しました。皆さんのクリスタルにも、この神殿から光を送っておりますので輝きだすと思います。今日は新たな種族を創って頂けるという事なので嬉しく思っております。よろしくお願いします」

私は新種族を創るため、稼動性がはやくクリスタルの力を十分理解し現実にかせるクリスタルの騎士、クリスタルの女神、そして宇宙でも最も高次元にいる大天使にお願い

します。

そして、新しい種族の誕生のために鳳凰族、ソフィア族がどんどん光を送ります。

目映い光の中から、クリスタルの虹色の輝きを放っている羽をもつ女神が5体生まれました。

私は、その美しい種族をクリスタル・エンジェル族と名付けました。

これで氷河、雪、オーロラの神殿、海の神殿、クリスタルの神殿、そして、アガルタ、ムー、レムリアの神殿が全部出揃いました。

PART8 甦る創造主とバミューダ・トライアングル

PART 1 ラピスの鳳凰の救出

これでバミューダ・トライアングルに入りラピスの鳳凰を助ける準備ができました。

バミューダ・トライアングルに入るため私は、全ての神殿に関わるマスター、私と共に活動しているすべての騎士団とマスター、魔法使い達を呼び指示を出します。

「皆さんはここに全ての神聖幾何学を描くと共に、各神殿の光を繋いで地球に大きなグリッドを作ってください。

黄金の騎士、クリスタルの騎士はバミューダ・トライアングルの中に入り様々なトラップを解除してください。

この総指揮は光の騎士お願いします。

私達は今から創造主の元に行き、フェリア族や鳳凰族の創造主にお願いし、一気に光を降ろしてラピスの鳳凰を救出したいと思います。」

私はフェリア族や鳳凰族、そして多くの創造主の力を合わせて、バミューダ・トライアングルに光を送るようお願いしました。

創造主は自らが光となり、時空を越えてバミューダの中に入りました。

更にバミューダ・トライアングルの奥にある巨大なピラミッドの頭頂部の青白く光っているクリスタルの中へ光が満ちていきます。私達は、「創造主の光の通路」を作り、その

中に入っていくと、そこに一つの神殿があり、ラピスの鳳凰が気を失ったまま横たわっています。

一緒にこの場所に降りてきた鳳凰族を中心として光の騎士、黄金の騎士、クリスタルの騎士達がそのラピスの鳳凰のまわりを取り囲み光のシールドを作り出していきます。急に何か起きた時に防御を行うためです。

私はそのラピスの鳳凰に近づき「愛の結晶」を彼のハートに入れました。彼のハートに大きな光が輝き始め、しばらくするとラピスの鳳凰が目をさましたようです。

「あなたはラピスの鳳凰ですか？」と私は質問します。

ラピスの鳳凰は、何が起きているのかまだ理解していないようですが、うつろな目をして「そうです。」と答えました。

ヒール・オブ・ソフィアは、ラピスの鳳凰のそばに座り、彼のハートに光を満たしています。

多くの騎士たちが緊張した面持ちでその様子を見守っています。

ラピスの鳳凰に私は説明します。

「私達はあなたをこの場所から解放する為に、鳳凰族、ソフィア族と共にここにやってきました。

あなたがネガティブ・コードによって苦しめられた事、そして多くの人達を無意識のうちに苦しめた事を私達は知っています。

その事を許し解放しに来たのです。」

私は、騎士たちに、彼からネガティブ・コードや身体にある様々な束縛を解き放つよう

指示を出します。

ラピスの鳳凰には沢山の矢が刺さっていましたが、全て取り除かれていきます。

彼は苦しみがやっと和らいだ喜びで満ちています。

ラピスの鳳凰がゆっくりと体を起こします。

「私の体にネガティブ・コードが入る事によって、私自身が想像している以上に、自分の思いと異なる方向へ自分自身が進んでいった事に、私は大きな恐怖と苦しみを味わいました。

闇の力に支配され、何も抵抗できずに引きずられていく事は、私にとって絶望的な気持ちでした。

私は、ここに封印され、動きが取れなくなる事で、これ以上の愚かな行動をおこなわずに済みました。

そして、そのような私を救いに来て下さった皆さんに心から感謝致します」

私は更に指示を出します。

「創造主の光で彼を包んで下さい。

大天使達よ、彼から不要なものを全て解き放って下さい。

そしてソフィア族よ、彼の中に愛の光を灯して下さい。

ソフィアの女神よ、愛するわが子を受け取りに来て下さい」

ソフィアの女神が降りて来て、ラピスの鳳凰を抱きしめました。

ソフィアの女神から光が放たれ、その光に包まれたラピスの鳳凰は、心の中に明かりが灯ったかのように本来の姿へと戻っていきます。

「私は、これから本来の役割を果たす事で、

自分の責任を償いたいと思います。
どうか皆さん、力を貸して頂けませんか？」
と彼は言います。

ソフィアの女神も続けて言います。

「皆様どうぞよろしくお願いいいたします。
ラピスの鳳凰が光を放つ事で、地球のみならず宇宙のエネルギーの調整が行われます。
バミュダ・トライアングルに残る地球とアトランティスの時空の歪みも戻るでしょう。
そしてこの場所から生まれたすべての時空の歪みを、鳳凰族とソフィア族、そして騎士団が力を合わせて修正します。」

私も宇宙の光のメンバーたちに説明します。
「この前、地球の中心軸を調整した時に、とても大きなエネルギーが全宇宙に波及してしまいましたが、今回は創造主の光で守られて他の宇宙には影響がない様な形で行われています。」

皆さんもこのエネルギーで皆さんの中にあるネガティブな封印や自分の能力を抑制している物を解き放って下さい。
そして、このバミュダ・トライアングルの闇のエネルギーがどんどん光に変わっていく様子を想像しましょう。
そうする事で、皆さん1人1人の闇がどんどん解放されていきます。

バミュダだけでなく、地球に存在するさまざまな神殿達が力を合わせて、この地球を守るグリッドを創りあげていますから、そこからも光が流れて来ます。
そしてバミュダ・トライアングルが更に浄化されていくのです。」

PART2 バミューダ・トライアングルのグリッド・クリスタル

私は、クリスタル族、氷河族、雪族、オーロラ族、全ての種族達にバミューダ・トライアングルの奥にあるクリスタルに光をつなぎ調整する様に指示を出します。

クリスタルのまわりをクリスタル・エンジェルが飛び交っています。

そしてドラゴン達も来て、クリスタルの周りを飛び交い金粉を降らしています。

創造主達もクリスタルに、神聖幾何学の様な模様を描き、高次元の光を満たしています。

するとクリスタルのエネルギーがまわりに光を放ち始め、さらにその光が海を越えて地上へと繋がっていきます。

クリスタルの光は、今までバミューダ・トライアングルがつながっていたネガティブなエネルギーの元へと広がり、神聖なる浄化の光と変わります。

浄化の光は、様々な地域へも広がり、ネガティブなエネルギーを清らかな水の流れて押し流すように清めていきます。

そして光は、1人1人の心のなかにも、火花の様にピカピカと降り注いでいます。

各神殿のマスター達の協力によって、地球のいくつもの異なる次元に残るネガティブエネルギーも癒されていきます。

やがて、この光はアトランティスにも届くことでしょう。

しばらくすると、バミューダ・トライアングルから光が真っ直ぐに高次元の世界に向けて上ぼって行きます。

そしてもう一つの光は、地球の中心へと一直線に下っていくかのように伸びていって

ます。

地球のコアと宇宙の高次元の世界が、揺らぐ事の無いようにこの光を繋げます。

地球が波動を高める為に、バミューダ・トライアングルのクリスタルが地球の中心軸を支えるためのグリッドを形成していきます。

バミューダ・トライアングルのクリスタルの中に入って行くと、このクリスタルからアトランティスの神殿に繋がる通路が開かれたようです。

私達はアトランティスの神殿へと導かれていくと、とても広い空間の中にいくつもの神殿があります。

大理石で出来た神殿やエメラルドで出来た神殿、ダイヤモンドで出来た神殿もあります。幾つかの神殿に囲まれた中央には、他の神殿よりも一回り大きな神殿があります。

神殿の中に入ると、既にドラゴン達やマスター達が神殿の光を整えています。

神殿の各所に、金属で出来た様な棒が立っていて、そこが地場を整える役目をするようです。

いくつもの棒で形成されるシステムから生み出されたエネルギーが、様々な場所の歪みも調整しているようです。

これを整える事により、クリスタルはさらに活性化され、様々なエネルギーを生み出します。

PART 3 ソフィア族の進化のコード

ラピスの鳳凰を解放した数日後、ソフィア族

の女神が、私に渡したいものがあるので来て下さいとメッセージがありました。

私達は、ソフィア族の世界へと向かいます。そこでは、ソフィアの女神が、にこやかな顔して私達を迎えてくれています。

「これから皆様方の役に立つ遺伝子(ライトコード)をお渡しします。

このライトコードは、皆さんが、素晴らしい叡智にもとづいて様々なテクノロジーやエネルギーを開発し、それを意識の向上や肉体の活性化、癒しへと使用できるように、皆さんを進化させていきます。

このライトコードは、皆さんが新たな人類として進化し、さらに未来の人類へとつないでいくための貴重なライトコードとなっております。

このライトコードは、皆さんの中にあるいくつかのライトコードとつながり、相互に影響しあって働きます。」

私は喜んでそのライトコードを受け取りました。

そしてソフィアの女神は、改めて私にラピスの鳳凰のお礼を言います。

「皆様のお陰でラピスが私の元へと戻りました、本当に感謝いたします。

この事により鳳凰族の愛のエネルギーは大きくなり、さらに沢山の働きが可能となります。

私は、この日がくる事を待ち望んでいました。この日を境に宇宙全体が大きく輝き出す事でしょう。

今回、バミューダ・トライアングルをはじめ、地球の浄化が大きく進んだ事で、その光はこ

の宇宙全体にも放たれ、地球のみならず宇宙が大きく変わるきっかけとなりました。その事を、私達だけでなく私達を生み出した創造主達もとても喜んでくれています。どうか太陽族の創造主達にも会いに行ってください。彼らも皆さんに、喜びを伝えたいと願っていますよ。」

PART6 太陽族の創造主の生みの親 祝福の女神

私は太陽族の創造主を呼び、彼らの世界へとメンバー達を導いていきます。創造主は、今回私達が、ラピスの鳳凰を助けたことに深い感謝の気持ちを表しています。太陽族の6人の創造主達は、私達に喜びと感謝の光をたくさん送ってくれます。

虹色の光が、私達を包むと、さらに太陽族の創造主を生み出した女神が私達の元へ、誘いの光を送ってくれます。私達は、その光に導かれるように上の世界へと登っていきます。そこに待っていてくださったのは、「祝福の女神」と呼ぶ事となった女神です。

女神は、大きな虹色の光を携えて私達の前に現れます。

「あなたがたが、私共の光を受け取って下さり感謝しています。ソフィア族、そして鳳凰族達を救ってくださり大変ありがとうございます。彼らもこの事を通して多くの事を学び成長する事でしょう。そして今までにない素晴らしい宇宙を作っ

てくれる事と期待しております。

今日は、私の光も受け取って行ってください。私からの光は、あなたがたが想像する以上の細かい粒子であり、あなたがたの細胞一つ一つに届く事でしょう。

私の光はとても早いスピードで遺伝子コードに働きかけ、皆さんの遺伝子コードを活性化し修復する事も可能です。

遺伝子コードの活性化と修復が行われると、あなたがたの意識の変化や変容もさらに早まって来ます。

そして皆さんのスピリットの一部である神龍も更に大きく成長し、知識や能力が高まる事でしょう。

そうすると、地球の神龍、宇宙を司る神龍もさらに成長し、その能力を高めます。

即ち、宇宙全体がこれから大きな変容を迎えるのです。」

私達は彼女の光を細胞の隅々まで満たすように受け止めていきます。

「TAKESHIさん、私の働きは宇宙の進化や発展を見守り、宇宙を創造していく事です。しかし、私の上にも、さらに偉大な創造主やマスターがいます。

彼らはあなたと会える事を、心から楽しみにしていますよ。」

彼女は説明しながら、神聖幾何学の光をここにいる全員に降ろして下さいました。

宇宙で活躍する神々や創造主 の段階

宇宙で活躍する神々や創造主の段階

青字は天使

地球	マザーガイア、 天照大御神などの世界で活躍する神々（スターピープル） サナートクマラ、サナンダなどのマスター 人間を守る守護天使
太陽系	アメンラー、ゼウス、ポセイドンなどの創造神 大天使
天の川銀河の小創造主	天の川銀河の各星座を担当する小創造主 ペテルギウス、北極星、南十字星、レグルス星、スピカ星等 天の川銀河の大天使
天の川銀河を統治する中創造主	アディテーヤ 仏陀 アリターリア
局部銀河を統治する中創造主	イエス アールスター アリアドーネ 宇宙の魔法使い エルシーダ シバ オニキス ユニバーサル・エンジェル
	グレートイエス グレートマリア
物理世界を創造する創造主	ブラフマン 界王 グレート・スター
ユニバース（単一宇宙）	グレート・ユニバース グレート・キング グレートマザー

の創造主	グレートエンジェル
特殊な創造主	ゴールドシファー 宇宙の大地のマスター ホーリーエンジェル
マルチバースの創造主	セントラル・サン&ムーン ゴッデス・オリジン ゴッデス・ユニティ
愛の源の世界	愛の源の世界のマザー エンソフ アメンラー ウイング
高次の物理世界の創造主	セントラルレース セントラルイエス&マリア クリスタルレース デバインマスター
	永遠なる愛の女神 黄金の女神 宇宙の意志 ダイヤモンドの女神
12 神殿に関わる創造主	鳳凰族の創造主 ソフィア族の創造主
	無の創造主 祝福の創造主 太陽種族の創造主
物理世界の系列を表す創造主	輝きの創造主 光と闇の統合の創造主 至高なる愛の創造主 永遠なる時の創造主

★物理世界を持つ宇宙

○第1レベル 天の川銀河の中の創造主

階層としては一番下の階層の創造主です。主に星々や星座の働きを保ち、星に存在する生命達を生まだします。

彼等は星座の創造主とも呼ばれています。

その上には、天の川銀河全体の管理と創造を行う創造主もいます。

○第2レベル 局部銀河の創造主

私達にとって観測可能な宇宙（ユニバース）の中でも、天の川銀河やアンドロメダ銀河を含む局部銀河が一つの宇宙の単位となっています。

この局部銀河を治める最高の創造主は、私達が「界王」呼んでいる創造主で彼のもとに多くの創造主が役割を分担して存在しています。

私は、局部銀河の運営にたずさわる創造主を「グレートゴッデス」と呼んでいます。

特にグレート・イエスやグレート・マリアは地球の事をとても大切にしてくれています。

○第3レベル 観測可能なユニバースを統治する創造主

物理的な世界を持つ宇宙（ユニバース）を直接統治する創造主達です。

主に第4レベルの創造主に対応する創造主達がいて、第4レベルの創造主の指示のもとに単一宇宙であるユニバースを運営しています。

○第4レベル 多次元宇宙を統治する創造主

観測可能な宇宙だけでなくパラレルワールドも含む多次元宇宙を統治する創造主達の世界です。

そのリーダーは、エンソフと呼ばれる創造主です。彼のもとに、星々を創造する創造主、人々の運命を司る創造主、宇宙の安定を保つ創造主、ドラゴンや精霊を生み育てる創造主、4大エレメントを駆使して宇宙を創造する源のエネルギーを作る創造主、叡智ある存在が適正に育っているか調べる創造主などが

存在して、多次元宇宙の創造と運営を行っています。

★スピリチュアルな宇宙

○第5レベル 物理的な宇宙を創造し運営する創造主

このレベルの創造主からは、たくさんの階層と役目を持った創造主が存在します。

物理的な宇宙を創造し運営する役目を持ち、私達の物理世界にも関われる創造主達です。第1評議会の中心的な創造主達になります。リーダーは、「源の創造主」「光彩の創造主」で宇宙のスーパーコンピュータを管理する創造主なども含まれます。

○第6レベル 物理的な宇宙を管理しスピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第2評議会、第3評議会の創造主達で、上位の評議会の創造主の指示のもとにスピリチュアルなレベルでも宇宙を創造していきます。

彼等は、上位の評議会の決定を自分達の評議会でも議論し、どのような方法で宇宙の創造と運営を実行するか決めて行動します。

○第7レベル スピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第4評議会の創造主で、物理的な宇宙の元となるスピリチュアルな宇宙を作ります。この宇宙の原型を基に、第3評議会と第2評議会の創造主やスターピープル達がスピリチュアルな宇宙の細かい創造を行います。彼等は、マルチな能力を持つ創造主で1人1人が独立して、自由に宇宙の創造を行う権利が与えられています。

○第8レベル 創造された宇宙の管理を行う創造主

第5評議会以上の創造主達は、宇宙の創造は行いませんが、彼等よりも下の評議会の創造主が作った宇宙が適切に運営されているかどうかの検査を行っています。

非常に高い能力を持っている事はもちろんですが、どの次元にも自由に入る事ができ、多くの宇宙を見守っている創造主です。

○第9レベル いくつもの宇宙を管理する創造主

第9評議会以上の創造主達は、私達の宇宙以外にもいくつもの宇宙に関わり創造や管理を行うようになります。